

ORPHIS FW シリーズ

5230/5230A/5231/2230/1230/
5230II/5230AII/5231II

管理者を対象とした本機やオプション
(ICカードリーダー、スキャナー等) の設定について説明しています。

管理者ガイド

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2 : 2011」に適合しています。

本装置は、ドイツ環境ラベル「RAL-UZ205」の物質エミッション試験に適合しています。



お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

「安全上の注意」はユーザズガイドに記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

本書について

はじめに

このたびは、ORPHIS FWシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、管理者設定について説明します。

ユーザーやアドレス帳の登録、操作の許可・制限、使用環境の設定など、使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定ができます。

使いやすい環境を設定して、より便利に本機をご活用ください。

- 管理者設定には、本機の動作に重大な影響をおよぼすものがあります。必ず専任の管理者を定め、管理者の責任で管理・運用してください。また、パスワードは慎重に管理してください。
- 設定できる項目は、接続されているオプションや設定内容により異なります。

本機の取扱説明書は、次の4冊から構成されています。

● スタートガイド

本機の基本的な使いかたや、消耗品の交換について説明しています。
機器本体の近くなど、すぐに手に取れる場所に保管し、ご利用ください。
まずはこのガイドからお読みください。

● ユーザーズガイド

取り扱い上の注意、仕様、各種機能の操作や設定について説明しています。
本機について詳しく知りたいときに、このガイドをお読みください。

● 管理者ガイド（本書）

管理者を対象とした本機やオプション（ICカードリーダー、スキャナー等）の設定について説明しています。

● こんなときには

故障かな？と思ったときや、紙づまりなどのトラブルの対処方法について説明しています。

取扱説明書の記述内容について

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
- (3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、WindowsおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Mac、Mac OSおよびSafariは、Apple Inc.の商標です。

Adobe、Adobeロゴ、PostScriptおよびPostScript 3は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ColorSetは米国の特許商標局で登録されるMonotype Imaging社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

①、RISO、ORPHISおよびFORCEJETは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

その他の社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。



カラーユニバーサルデザイン認証を取得

ORPHIS FWシリーズ（本体、オプション*）は色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。

* 認定オプション製品

スキャナー／オフセットステープルトレイ

表記について

■本文中で使用されるマークについて



安全にご利用いただくための注意事項が書かれています。



操作上守っていただきたいことなどの重要事項が書かれています。

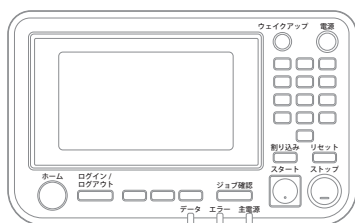


覚えておくと便利なことや補足説明が書かれています。

■記載方法について

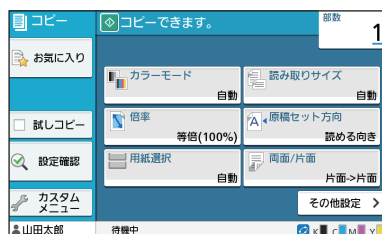
このガイドの中で操作パネルなどのハードキーや、タッチパネル画面のボタンおよびパソコン操作画面のボタン／項目名については、名称を [] で括って表しています。

●操作パネル



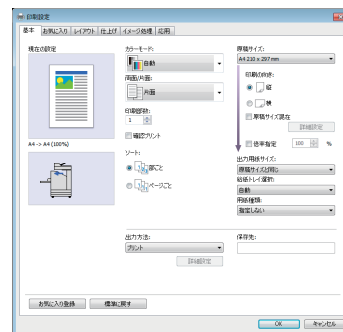
例：[ストップ]キーを押します。

●タッチパネル画面



例：[カラーモード]をタッチします。

●パソコン操作画面



例：[原稿サイズ混在]にチェックマークをつけます。

■オプション名の表記

本書では、オプションを以下のように総称で表記しています。それぞれに固有の事項を説明する場合には、個別の名称を表記しています。

表記	オプション名称
マルチフィニッシャー	マルチフィニッシャー M (中とじ機能つき) マルチフィニッシャー S
排紙台*	排紙台W オートフェンス排紙台

* 本体右側に接続するオプションの排紙台です。

■本文中の操作手順や画面について

- ・ 本書の操作手順や画面、イラストは、ORPHIS FW5230 / FW5230 II にスキャナー (オプション) を装着した状態で記載しています。
- ・ 本書に掲載している画面やイラストは、本体の機種、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

ORPHIS FW2230、ORPHIS FW1230を お使いのお客様へ

ORPHIS FW2230では使用するインクがブラックとレッド、ORPHIS FW1230ではブラックのみです。本製品の取扱説明書は、フルカラープリンターと兼用です。掲載しているイラストや画面は、ORPHIS FW5230 / FW5230 II にスキャナー（オプション）を装着した状態で説明しています。一部機能や画面表示が、フルカラープリンターとは異なりますのでご了承ください。

画面表示

印刷色数の違いにより、画面の表示が一部異なる機能や、表示されない機能があります。

■ タッチパネル

[ユーザー設定] - [プリント機能制限] 画面



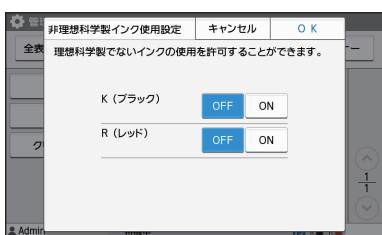
[ユーザー設定] - [コピー機能制限]



[プリンター] - [サプライ在庫管理] 画面



[プリンター] - [非理想科学製インク使用設定] 画面



■ RISOコンソール

[ユーザー設定] - [ユーザーを追加] 画面



目次

本書について	1
表記について	2
ORPHIS FW2230、ORPHIS FW1230をお使いのお客様へ	3
画面表示	3
プリンタードライバーのインストールとアンインストール	6
DVD-ROMの内容について	6
インストーラーの種類	6
セットアップ作成ツールでクイックインストーラーを作成する	6
インストール方法	7
標準インストーラーでインストールする場合	7
クイックインストーラーでインストールする場合	7
アンインストール方法	7
PostScriptキット（オプション）をお使いの場合	7
管理者を設定する	8
管理者設定の流れ	8
管理者ができること	9
管理者設定	9
管理者だけが使える機能	9
管理者パスワードの設定	10
管理者メニューを設定する	11
操作パネルから設定する	11
RISOコンソールから設定する	12
管理者メニューの設定項目	13
管理者メニュー設定項目一覧表	13
ユーザー管理	13
システム	14
プリンター	14
スキャナー	14
管理者メニュー設定項目/内容	15
ユーザー管理	15
システム	18
プリンター	23
スキャナー	25
ICカードリーダー（オプション）接続時の設定	27
ユーザー登録をする	27
ログイン設定	28
[ログイン設定] を [ON] に設定すると	28

グループ設定	28
ユーザー設定	29
認証カードを登録する	31
複数のユーザーを一括して登録する (RISOコンソール)	31
認証サーバー設定 (外部サーバー認証) を設定する	33
外部システム連携を利用する	37
MPSソフトウェアを利用して連携する場合	37
本機内蔵のブラウザを利用して連携する場合	38
タイマー運転を設定する	38
非理想科学製インク使用設定 (操作パネルのみ)	39
ネットワーク設定 (IPv4)	40
ネットワーク設定 (IPv6)	41
ネットワーク設定 (詳細)	41
IPアドレス制限設定 (IPv4 または IPv6)	43
IPsec設定	44
スキャナー保存先登録	46
HDDデータ暗号化	48
データをバックアップしない場合	48
データをバックアップする場合	48
PostScriptキット (オプション) 利用時の設定	49
管理者の設定により影響を受ける機能	50
機能相関図	50
管理者設定により、ユーザーが利用できる機能	50
ネットワーク設定により、影響を受ける設定項目とユーザーへの影響	53
管理者設定により、本機の機能が制限されるもの	54
付録	55
ユーザーを一括して登録するためのCSVファイル形式	55
[共通]	55
[プリント/コピー機能制限設定] : [個別に制限する] 選択時の例	56
アカウンティング情報	57

プリンタードライバーのインストールとアンインストール

DVD-ROMの内容について

付属のDVD-ROMには、インストーラーとセットアップ作成ツールを [Windows 32-bit] と [Windows 64-bit] に分けて収録しています。お使いのOSのbit数に適した方を使用してください。

- ・ プリンタードライバー標準インストーラー
標準のインストーラーです。
- ・ セットアップ作成ツール
クイックインストーラー作成用のツールです。このツールを使って、設定内容をカスタマイズしたインストーラーを作成できます。

インストーラーの種類

インストーラーは2種類あります。

- ・ 標準インストーラー
DVD-ROMに収録されているインストーラーです。
このインストーラーを使った場合は、各ユーザーがプリンタードライバーのオプションの設定などを行う必要があります。
- ・ クイックインストーラー
セットアップ作成ツールで作成したインストーラーです。
(作成方法については、「セットアップ作成ツールでクイックインストーラーを作成する」を参照してください。)
クイックインストーラーを使用すると、設定内容がカスタマイズされたプリンタードライバーをインストールできます。ユーザーは、インストール後、特別な設定を行わずに、すぐにプリンタードライバーを使ってパソコンから印刷できます。
大勢のユーザーがプリンタードライバーをインストールする場合に利用すると便利です。
また、両面印刷や白黒印刷を初期値に設定しておく、カラープリントの使用を制限するなど、プリンターの管理・運用面でも利用できます。

カスタマイズできる設定内容は、以下の通りです。

- ・ カラーモードの制限
- ・ 印刷設定の初期値
- ・ [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] でプリンターを右クリック-プロパティの設定内容

セットアップ作成ツールでクイックインストーラーを作成する

1 標準インストーラーを使用して、ドライバーをインストールする

2 各設定をする

印刷設定の初期値や [デバイスとプリンター] - プロパティの設定内容を設定してください。

3 セットアップ作成ツールを起動する

DVD-ROMの [PrinterDriver] - [Windows 64-bit] (または [Windows 32-bit]) - [SetupMaker] フォルダー内の「SetupMaker.exe」をダブルクリックします。



- ・ お使いのOSのbit数に適したフォルダーを選択してください。bit数が異なる場合、セットアップ作成ツールは起動しません。

4 画面の指示に従って、設定する

クイックインストーラーが作成されます。

インストール方法

■ 標準インストーラーでインストールする場合

DVD-ROM をパソコンにセットすると、インストールウィザードが起動します。画面の指示に従って、インストールしてください。インストール方法について詳しくは、「ユーザーズガイド」の「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

■ クイックインストーラーでインストールする場合

クイックインストーラーの「QuickSetup.exe」ファイルをダブルクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。

アンインストール方法

[スタート] から、[すべてのアプリ] - [RISO ORPHISFW] - [アンインストーラ] をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 8.1/ Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2の場合

「アプリ」画面を開き、「RISO ORPHISFW」グループの「アンインストーラ」をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows Vista/Windows 7の場合

[スタート] から、[(すべての)プログラム]-[RISO]-[ORPHISFW]-[アンインストーラ] をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

PostScriptキット（オプション）をお使いの場合

PostScript 3対応の専用プリンタードライバーをインストールしてお使いください。動作環境やインストール方法など、詳しくは、「ユーザーズガイド」の「PostScriptキット」を参照してください。

管理者を設定する

管理者設定の流れ

他のユーザーが本機を使い始めるにあたって、管理者が設定すべき項目は以下のとおりです。

1 管理者パスワードを設定する (p. 10)

2 管理者としてログインする (p. 11)

3 ネットワークの設定をする
(本機をネットワーク接続して使用する
場合) (p. 40)

4 ユーザー登録をする (p. 27)

5 その他、必要な管理者メニュー項目を
設定する (p. 11)



- ネットワークの設定では、初めにIPアドレスを設定してください。
- コピーモード、スキャンモード、ボックス保存およびUSB保存の初期値の設定は、管理者ログイン後、各モード画面から行います。
詳しくは、「ユーザズガイド」の「初期値として登録する」を参照してください。

管理者ができること

管理者には、大きく分けて、以下の2つの権限があります。

- ・ 管理者メニューで初期値の変更や、各種使用環境の設定ができる
- ・ 通常モード（各モード）使用時に、管理者だけが使える機能がある

■ 管理者設定

「管理者メニューの設定項目」（p. 13）で説明している設定が可能です。
設定方法については、「管理者メニューを設定する」（p. 11）を参照してください。

■ 管理者だけが使える機能

それぞれのモードで、管理者だけが使える機能は以下の通りです。

該当機能	管理者だけが使える操作
【ホーム】画面	
[機種情報]	[システム情報]画面 [コメント]の入力
コピーモード／スキャンモード／ボックスモード／USBモード共通	
[初期値に登録] [初期値をクリア]	ログインが不要な環境の場合 コピーモード、スキャンモード、ボックス保存、USB保存の初期値を変更できます。 （[初期値に登録] [初期値をクリア] の操作） ログインが必要な環境の場合 ユーザーが初期値を変更しない場合、または [初期値をクリア] した場合の、コピーモード、スキャンモード、ボックス保存、USB保存の初期値を変更できます。 設定方法については、「ユーザーズガイド」の「カスタムメニュー」を参照してください。
[お気に入り登録] [お気に入り編集]	全ユーザーが共通で使用できるお気に入りの登録 共通のお気に入りの削除と名称変更
[機能並べ替え]	全ユーザーが共通で使用できる機能の並べ替え

上記の機能を使用するには、管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。

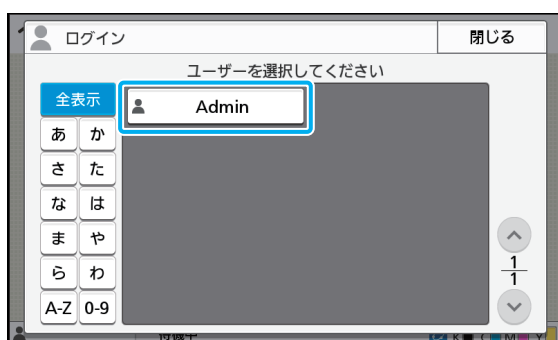
管理者パスワードの設定

工場出荷時には、管理者権限を持つ「Admin」というユーザーが登録されています。初めて本機を使うときは、以下の手順で「Admin」としてログインし、パスワードを設定します。

1 操作パネルの [ログイン/ログアウト] キーを押す

[ログイン] 画面が表示されます。

2 [Admin] をタッチする



[パスワード] 画面が表示されます。

3 仮パスワードを入力する

工場出荷時の設定は「0000」です。

4 [ログイン] をタッチする

[パスワード変更] 画面が表示されます。

5 新しいパスワードを入力して [次へ] をタッチする

パスワードは、半角英数字0~16文字で入力してください。



[次へ] をタッチすると、[パスワード変更 (再入力)] 画面が表示されます。

6 新しいパスワードを再入力して [OK] をタッチする

ユーザー名を変更する場合は、管理者メニューの [ユーザー設定] から変更してください。(p. 29 参照)

管理者メニューを設定する

管理者メニューを設定する方法には、以下の2つがあります。

- ・ 操作パネルから設定する方法
- ・ RISOコンソールから設定する方法

本書では、操作パネルから設定する方法を中心に説明します。

- ❗ 管理者メニューを設定するには、管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。

操作パネルから設定する

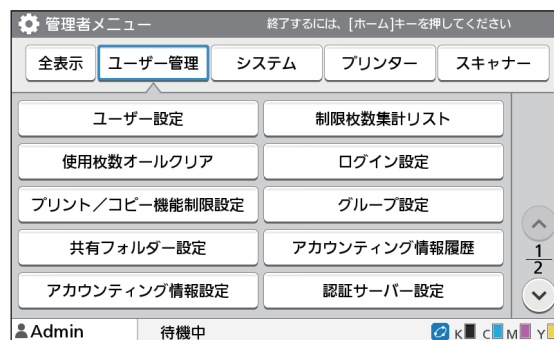
1 管理者権限を持つユーザーでログインする

操作パネルの [ログイン/ログアウト] キーを押してログインします。

2 [ホーム] 画面で [管理者メニュー] をタッチする



3 各設定をする



- ❗ 設定後は [ホーム] キーを押して管理者メニューを終了します。

- ✎ 画面の上部にあるボタンを選択すると、そのボタンの項目だけが表示されます。
p. 13以降の一覧表は、すべての管理者設定についてボタン名ごとにまとめています。

RISO コンソールから設定する

1 RISOコンソールを起動する

ウェブブラウザを起動し、アドレスバーに本機のIPアドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

2 管理者権限を持つユーザーでログインする

ユーザー名とパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。



RISO Console

ユーザー名:
Admin

パスワード:

ログイン

3 [管理者メニュー] をクリックする



4 各設定をする

設定後は [ログアウト] をクリックするか、画面を閉じて終了してください。

管理者メニューの設定項目

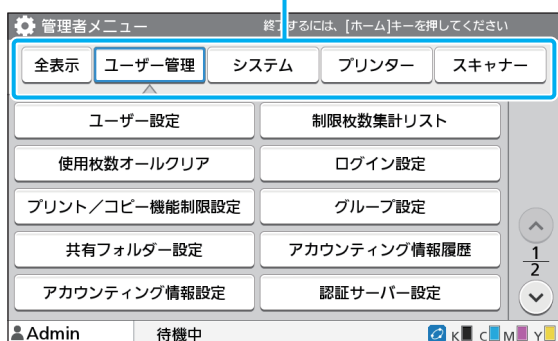
管理者メニューの設定項目は以下のとおりです。

- ・設定に必要なオプションが接続されていない場合、その設定項目は表示されません。

管理者メニュー設定項目一覧表

管理者メニューの設定項目は、機能によって4つのカテゴリ（ユーザー管理、システム、プリンター、スキャナー）に分類されています。一覧表の参照ページで、各機能の内容や設定値を確認できます。

カテゴリ別に分類されたボタンです。
各カテゴリの機能に絞り込んで表示できます。



ユーザー管理

ユーザーごとに使用できる機能を制限したり、ジョブの履歴を管理したりします。

- ・ユーザー設定 (p. 15)
- ・制限枚数集計リスト (p. 15)
- ・使用枚数オールクリア (p. 15)
- ・ログイン設定 (p. 15)
- ・ログイン手段切替 (p. 15)
- ・プリント/コピー機能制限設定 (p. 15)
- ・グループ設定 (p. 15)
- ・見出し設定 (p. 16)
- ・共有フォルダー設定 (p. 16)
- ・アカウント情報履歴
（操作パネルのみ） (p. 16)
- ・アカウント情報設定 (p. 16)
- ・アカウント情報
（RISOコンソールのみ） (p. 16)
- ・認証サーバー設定 (p. 17)
- ・外部システム連携 (p. 17)

システム

本機のシステムやネットワークの設定をします。

- ・ ジョブ/文書管理 (p. 18)
- ・ 管理者設定プリント/管理者設定一覧 (p. 18)
- ・ 用紙サイズ登録 (p. 18)
- ・ ファンクションキー登録 (p. 18)
- ・ 日時設定 (p. 18)
- ・ NTPサーバー同期設定 (p. 18)
- ・ ブザー音 (p. 19)
- ・ ミリ・インチ切替 (p. 19)
- ・ オートリセット設定 (p. 19)
- ・ 省電力設定 (p. 19)
- ・ タイマー運転 (p. 19)
- ・ ネットワーク設定 (IPv4) (p. 20)
- ・ ネットワーク設定 (IPv6) (p. 20)
- ・ ネットワーク設定 (詳細) (p. 20)
- ・ IPアドレス制限設定 (IPv4) (p. 20)
- ・ IPアドレス制限設定 (IPv6) (p. 20)
- ・ IPsec設定 (p. 20)
- ・ 有効プロトコル (p. 20)
- ・ 表示言語 (p. 20)
- ・ コンソール起動画面
(RISOコンソールのみ) (p. 20)
- ・ ホーム画面カスタマイズ (p. 21)
- ・ 初期画面表示 (p. 21)
- ・ USBモード自動遷移 (p. 21)
- ・ 終了ジョブ設定 (p. 21)
- ・ セットアップウィザード
(操作パネルのみ) (p. 21)
- ・ 管理者設定初期化
(操作パネルのみ) (p. 21)
- ・ エラー履歴送信
(操作パネルのみ) (p. 22)
- ・ HDDデータ暗号化 (p. 22)
- ・ コンソール表示モード設定 (p. 22)
- ・ データー一括上書き消去 (p. 22)
- ・ 残存データ上書き消去 (p. 22)

プリンター

プリント機能の設定をします。

- ・ サプライ在庫管理
(操作パネルのみ) (p. 23)
- ・ 保留ジョブ設定 (p. 23)
- ・ ジョブ名表示切替 (p. 23)
- ・ プリント領域切替 (p. 23)
- ・ クリーニングサイクル設定 (p. 24)
- ・ 封筒給紙設定 (p. 24)
- ・ モード別排紙先設定 (p. 24)
- ・ オート排紙台フェンス設定 (p. 24)
- ・ 非理想科学製インク使用設定
(操作パネルのみ) (p. 24)
- ・ バーコード領域ファイル管理
(RISOコンソールのみ) (p. 24)

スキャナー


スキャン機能の設定をします。

- ・ スキャナー保存先登録 (p. 25)
- ・ メール宛先登録 (p. 25)
- ・ カラー/白黒判定レベル (p. 25)
- ・ 追加コピー表示切替 (p. 25)
- ・ スキャン文書保存設定 (p. 25)
- ・ メール送信設定 (p. 26)
- ・ 宛先/保存先直接入力切替 (p. 26)






管理者メニュー設定項目/内容







・下線は工場出荷時の設定です。

・ は、ICカードリーダー（オプション）接続時に設定が必要な項目です。




ユーザー管理


設定項目/内容	設定値/詳細
<p>ユーザー設定 </p> <p>本機を使用するユーザーの登録をします。 ユーザーごとに、使用できるモードを選択したり、カラーモードの使用やコピー枚数を制限したりできます。</p> <p> ・ [ログイン設定] が [OFF] の場合は、登録の必要はありません。</p>	p. 29参照
<p>制限枚数集計リスト</p> <p>[ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、各ユーザーの制限枚数や使用枚数の集計リストを保存またはプリントできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の操作パネルの場合 [プリント] / [保存] ・ RISOコンソールの場合 [プリント] / [CSVファイルの書き出し] (保存場所を指定してください)
<p>使用枚数オールクリア</p> <p>[ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、全ユーザーの使用枚数カウントをクリアします。</p>	表示メッセージに従って設定します。
<p>ログイン設定</p> <p>各モードに入る際に、ログインを必要とするかどうかを設定します。本機を使用するユーザーを制限したい場合に設定します。</p>	p. 28参照
<p>ログイン手段切替 (ICカードリーダー接続時) </p> <p>ICカードによる認証のほかに、ユーザー名とパスワードによるログイン認証を可能にするかどうかを設定します。ユーザー名とパスワードでログインできるようにするには、[ICカード/ユーザー名選択] を選んでください。</p> <p> ・ RISOコンソールでは、本機能の設定にかかわらずユーザー名とパスワードでログインできます。</p>	[<u>ICカードのみ</u>] / [ICカード/ユーザー名選択]
<p>プリント/コピー機能制限設定</p> <p>[ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、プリント、コピーごとに枚数を制限するか、一括した合計枚数を制限するかを設定します。</p>	[<u>個別に制限する</u>] / [一括で制限する]
<p>グループ設定</p> <p>ユーザーの属性として使用するグループを設定します。最大60個のグループを設定できます。ここで設定したグループは、以下の設定で使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ユーザー設定] の [所属グループ] ・ [共有フォルダー設定] の [許可グループ選択] ・ [アカウント情報] (RISOコンソールのみ) <p> ・ [ログイン設定] が [OFF] の場合は、登録の必要はありません。</p>	p. 28参照

設定項目／内容	設定値／詳細
見出し設定 [ログイン] 画面のユーザーのリストや [宛先] 画面などで表示する見出しのボタン名を設定します。	12個のボタンに、任意の文字を割り当てます。 半角／全角2文字
共有フォルダー設定 ジョブを保存する共有フォルダーの設定をします。最大30個設定できます。 [ログイン設定] を [ON] に設定している場合は、各フォルダーごとに、使用できるユーザーを、グループ単位で制限する設定ができます。 [グループ名] リストから、最大3個のグループを選択できます。  <ul style="list-style-type: none"> ・ [ホーム画面カスタマイズ] で [ボックス] - [保存] と [ボックス] - [利用] の両方を [OFF] に設定している場合は、この項目は表示されません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [追加] / [編集] / [削除] ・ [フォルダー名] リスト ・ [フォルダー名] テキストボックス ・ [このフォルダーを使えるユーザー] [全ユーザー] / [選択されたグループ] ・ [変更] ・ [グループ名] リスト ・ [選択済み] リスト
アカウント情報履歴 (操作パネルのみ) アカウント情報履歴ファイルの削除や、USBメモリーへの保存ができます。 あらかじめ [アカウント情報設定] で、[履歴ファイルへの保存] を [日ごと] または [月ごと] に設定する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除する場合 リストから削除するファイルを選択し、[削除] をタッチしてください。 ・ USBメモリーへ保存する場合 USBメモリーを接続して、リストから保存するファイルを選択し、[USBメモリに保存] をタッチしてください。
アカウント情報設定 アカウント情報を、一定期間で自動消去するかどうかを設定します。 [自動消去する] に設定すると、設定した保存期間で、自動的に消去します。  <ul style="list-style-type: none"> ・ アカウント情報とは、本機が実施したジョブの履歴です。プリントジョブ、コピージョブ、スキャンジョブ、ボックスジョブおよびUSBジョブすべての終了状況、オーナー名、処理時間、総頁数、部数、ジョブ開始 (日時) などが記録されます。 ・ [履歴ファイルへの保存] アカウント情報を定期的に保存する設定をします。ここで、設定した期間で、履歴ファイルが本機に保存されます。 保存された履歴ファイルは、[アカウント情報履歴] または [アカウント情報] から取り出すことができます。 ・ [FTP経由でのアカウント情報取得] FTP経由でアカウント情報を取得する場合に、設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [自動消去しない] / [自動消去する] ・ [時間] / [日数] (いずれか1つ選択) 1~99 (工場出荷時: 保存日数 7日) ・ [履歴ファイルへの保存] [OFF] / [日ごと] / [月ごと] ・ [FTP経由でのアカウント情報取得] [OFF] / [ON] ・ [FTPユーザー名]: account ・ [FTPパスワード]: 半角英数字16文字以内
アカウント情報 (RISOコンソールのみ) アカウント情報のカレントジョブリスト (保存期限前のアカウント情報) や履歴ファイルを、削除またはパソコンへダウンロードします。 あらかじめ [アカウント情報設定] で [履歴ファイルへの保存] を [日ごと] または [月ごと] に設定する必要があります。 アカウント情報ファイルについては、「アカウント情報」(p. 57) を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除する場合 [カレント] または [履歴ファイル] リストから削除するファイルを選択し、[削除] をクリックしてください。 ・ パソコンへダウンロードする場合 [カレント] または [履歴ファイル] リストでファイルを選択し、[ダウンロード] をクリックしてください。


設定項目／内容	設定値／詳細
<p>認証サーバー設定</p> <p>外部サーバーを使用して、外部サーバーにアカウントを持つユーザーの認証を行う場合に設定します。外部サーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。</p> <p> ・外部サーバー認証を利用した場合、プリンター側にユーザー情報を登録する必要がなく、外部サーバーで集中管理できます。</p>	<p>p. 33参照</p>
<p>外部システム連携</p> <p>お使いの外部プリントサーバーの機能や連携方法によって、表示される項目が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MPSソフトウェアを利用して連携する場合 ・ 本機内蔵のブラウザを利用して連携する場合 <p>[外部システム連携] を設定するとできることや制限事項については、「外部システム連携を利用する」(p. 37) を参照してください。</p> <p> ・工場出荷時には、MPSソフトウェアを利用した外部システム連携が設定できるようになっています。本機内蔵のブラウザを利用した外部システム連携をお使いになる場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MPS (Managed Print Service) ソフトウェアは、印刷業務のアウトソースや一括管理を支援するアプリケーションです。 	<p>MPSソフトウェアを利用して連携する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>[OFF]</u> / [ON] ・ [アドレス] : 半角英数字256文字以内 ・ [ポート] : 1 - 65535(工場出荷時:9191) ・ [接続方法] <u>[http]</u> / [https] <p>本機内蔵のブラウザを利用して連携する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>[OFF]</u> / [ON] ・ [アドレス] : 半角英数字256文字以内 ・ [通信テスト] ・ [プロキシ設定] : [使用する] チェックボックス (工場出荷時:チェックなし) ・ [詳細設定] [使用するプロキシのアドレス] : 半角英数字256文字以内 [ポート] : 1 - 65535 [ローカルアドレスにプロキシを使用する] [使用する] チェックボックス (工場出荷時:チェックなし) [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] : 半角英数字1024文字以内



システム

設定項目／内容	設定値／詳細
ジョブ/文書管理 全てのジョブ（文書）の詳細を確認したり削除したりします。  <ul style="list-style-type: none"> ・ [文書名]、[フォルダー名] などのカテゴリーをタッチすると、昇順／降順で並べ替えて表示できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [終了（履歴）] ・ [保留ジョブ] ・ [ボックス保存文書] ・ [詳細確認] / [削除] / [開く] ・ サブメニュー [すべて選択] / [すべて解除] [削除]
管理者設定プリント 管理者メニューの設定値一覧をプリントします。  <ul style="list-style-type: none"> ・ A4サイズ用の紙を、給紙台にセットしてください。 ・ RISOコンソールでは、[管理者設定一覧] 画面からプリントできます。 	表示メッセージに従って、操作してください。
用紙サイズ登録 不定形用の紙サイズを最大99個登録できます。登録した用紙の名称は、[用紙サイズ] - [登録用紙] の選択肢として表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ [追加] / [編集] / [削除] ・ 用紙サイズ90mm×148mm～340mm×550mm ・ 登録名
ファンクションキー登録 操作パネルのファンクションキーに、よく使うモードや機能を登録します。 [F1] / [F2] / [F3] にそれぞれ一つずつ登録します。	[未登録] / [コピー] / [スキャン（メール）] / [スキャン（PC）] / [スキャン（コンソール）] / [プリント] / [ボックス（保存）] / [ボックス（利用）] / [USB（保存）] / [USB（利用）] / [ブラウザー] / [システム情報] / [カウント表示] / [前カバーロック解除] / [低速モード]
日時設定 日付と時刻を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ [年/月/日] ・ [時：分] ・ [年月日の表示順] [yyyy/mm/dd] / [mm/dd/yyyy] / [dd/mm/yyyy]
NTPサーバー同期設定 NTPサーバーから正確な時刻を取得し、本機に同期します。  <ul style="list-style-type: none"> ・ NTPサーバーは、[ON] にして表示される [アドレス] テキストボックスに入力します。 ・ NTP サーバーと同期するときのタイムアウト時間は、[タイムアウト（秒）] で設定します。設定した時間内にサーバーからの応答がないと、NTPサーバーとの同期を中止します。 ・ [認証サーバー設定] や [タイマー運転] など、時刻の精度を求められる機能を設定した場合に効果的です。 ・ [NTP サーバー同期設定] が [ON] の場合、[日時設定] では [年月日の表示順] のみ設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [OFF] / [ON] ・ [アドレス] サーバー名、IPアドレス（IPv4） / （IPv6） ・ [同期間隔（時間）]：1～500時間（工場出荷時 168時間） ・ [タイムアウト（秒）]：5～120秒（工場出荷時 5秒）




設定項目／内容	設定値／詳細
<p>ブザー音</p> <p>キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [OFF] ブザー音は鳴りません。 ・ [限定] エラー音のみ鳴ります。 ・ [ON] 確認音、エラー音ともに鳴ります。 	<p>[OFF] / [限定] / <u>[ON]</u></p>
<p>ミリ・インチ切替</p> <p>本機で扱う長さの単位を設定します。単位に応じて、用紙サイズ表示も切り替わります。</p>	<p><u>[ミリ]</u> / [インチ]</p>
<p>オートリセット設定</p> <p>一定時間本機を操作しなかった場合に、自動的に初期値に戻します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [OFF] / <u>[ON]</u> ・ オートリセット時間設定： 1～60分（工場出荷時 3分）
<p>省電力設定</p> <p>本機を一定時間使用しない場合に、省電力状態に切り替える設定をします。省電力設定には [オートバックライト消灯] と [オートスリープ] があります。スリープは消費電力値の違いで2種類（[少ない] または [標準]）から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [オートバックライト消灯] タッチパネルが消灯し、[ウェイクアップ] キーが点灯している状態です。原稿をスキャナーにセットするか、[ウェイクアップ] キーを押すと復帰します。 ・ [オートスリープ] タッチパネルが消灯し、[ウェイクアップ] キーが点灯している状態です。[ウェイクアップ] キーを押すと復帰します。 ・  [スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定すると、[標準] よりも電力を消費しません。ただし、以下の制約事項があります。 <ul style="list-style-type: none"> - スリープ中は、RISOコンソールを表示することができません。 - Wake On LANの通信ができないネットワーク環境からプリント指示をした場合、プリンターが自動でウェイクアップしません。必ずプリンタードライバーの [環境] タブで [プリンターのMACアドレス] を設定してください。 詳しくは、「ユーザーズガイド」の「MACアドレスを設定する」を参照してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [オートバックライト消灯] [OFF] / <u>[ON]</u> オートバックライト消灯時間： 1～60分（工場出荷時10分） ・ [オートスリープ] <u>[ON]</u> オートスリープ時間： 1～60分（工場出荷時45分） [スリープ時の消費電力] <u>[少ない]</u> / [標準]
<p>タイマー運転</p> <p>指定した時刻に自動的に本機の電源を入れたり切ったりします。使用環境に合わせて曜日ごとに起動／終了時刻を設定できます。消し忘れを防ぎ、省電力にもつながります。</p>	<p>p. 38参照</p>



設定項目／内容	設定値／詳細
<p>ネットワーク設定 (IPv4)</p> <p>本機をネットワーク接続して使用する場合に設定します。インターネットプロトコルVer.4のネットワーク環境に接続するための設定です。</p> <p> ・RISOコンソールから設定する場合、[ネットワーク設定]画面で、IPv4およびIPv6のネットワーク設定とネットワーク設定（詳細）を登録できます。</p>	p. 40参照
<p>ネットワーク設定 (IPv6)</p> <p>本機をネットワーク接続して使用する場合に設定します。インターネットプロトコルVer.6のネットワーク環境に接続するための設定です。</p>	p. 41参照
<p>ネットワーク設定 (詳細)</p> <p>ネットワーク環境の詳細を設定します。ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。</p>	p. 41参照
<p>IPアドレス制限設定 (IPv4) / IPアドレス制限設定 (IPv6)</p> <p>本機を利用できるパソコンを制限する場合に設定します。アクセスを許可するパソコンのIPアドレスと、サブネットマスク (IPv4) または、プレフィックス長 (IPv6) を入力します。</p>	p. 43参照
<p>IPsec設定</p> <p>暗号化技術 (IPsec) を用いたネットワーク環境でプリンターをお使いの場合に設定します。データの漏えいや改ざんを防止できます。ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。</p>	p. 44参照
<p>有効プロトコル</p> <p>データの送受信で各プロトコルを使用する場合に設定します。</p> <p> ・ [HTTP/HTTPS] を [OFF] に設定すると、RISOコンソールを表示することができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [LPR/LPD] / [RAW] / [IPP] / [FTP] / [HTTP/HTTPS] / [SNMP] / [SLP] (工場出荷時: [ON])
<p>表示言語</p> <p>タッチパネルに表示される言語を選択します。設定後は、全ての表示が選択した言語に切り替わります。</p>	設定できる言語については本機の手冊を確認してください。
<p>コンソール起動画面 (RISOコンソールのみ)</p> <p>RISOコンソールを起動したときに表示する画面を設定します。</p>	[システム情報] / [ログイン画面]

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>ホーム画面カスタマイズ</p> <p>ホーム画面にどのモード選択ボタンを表示させるか設定したり、モード選択ボタンの並べ替えをします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [コピー] ・ [スキャン] [メール] / [PC] / [コンソール] ・ [プリント] ・ [ボックス] [保存] / [利用] ・ [USB] [保存] / [利用] ・ [表示設定]
<p>初期画面表示</p> <p>電源投入時や、オートリセット後に表示する画面を設定します。</p>	<p>[ホーム画面] / [コピー] / [スキャン(メール)] / [スキャン(PC)] / [スキャン(コンソール)] / [プリント] / [ボックス(保存)] / [ボックス(利用)]</p>
<p>USBモード自動遷移</p> <p>USBメモリーを本機にセットした場合に、自動的にUSBモードに移行し、[保存]か[利用]を選択する画面を表示するかどうかを設定します。USBモードでログインが必要な設定で、まだログインしていない場合、[ログイン]画面が表示されます。すでにログイン済みでUSBメモリーを本体に接続した場合、USBモードに移行します。</p>	<p>[OFF] / [ON]</p>
<p>終了ジョブ設定</p> <p>[ジョブ確認] - [終了(履歴)]画面に、終了ジョブを保存するかどうかを設定します。</p> <p>保存する場合、保存の期間と、再プリントの禁止または許可を設定します。</p> <p>[許可する]にチェックマークをつけると、[終了(履歴)]画面で終了したジョブを選択して、サブメニューの[プリント]をタッチして再プリントができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [保存しない] / [保存する] ・ [保存時間] / [保存日数] / [保存ジョブ数] (いずれか1つ選択) 1~99 (工場出荷時：保存時間 1時間) ・ [許可する] チェックボックス チェックなし、チェックあり
<p>セットアップウィザード (操作パネルのみ)</p> <p>導入時に行う基本的な設定を実行します。</p>	<p>表示メッセージに従って操作してください。</p>
<p>管理者設定初期化 (操作パネルのみ)</p> <p>管理者設定の設定内容やユーザー情報などを消去して、初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【削除】 登録されているすべてのユーザーと個人フォルダー、共有フォルダーを削除します。 ・ 【実行】 上記「ユーザー情報」以外の管理者設定を出荷時の状態に戻します。 <p> 初期化実施後は、情報(データ)を復帰させることはできません。実施する前によく確認してください。</p>	<p>[削除] / [実行]</p>


設定項目／内容	設定値／詳細
<p>エラー履歴送信（操作パネルのみ）</p> <p>お客様にエラー履歴送信の同意を頂いている場合に、エラー履歴を当社の管理サーバーにマニュアル送信します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> この機能は、お客様に同意を頂いている場合のみ表示されます。 お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）から指示があった場合に、使用してください。 	<p>表示メッセージに従って操作してください。</p>
<p>HDDデータ暗号化</p> <p>ジョブデータや文書データなど、本機の内蔵ハードディスクに保存されるデータを暗号化します。</p>	<p>p. 48参照</p>
<p>コンソール表示モード設定</p> <p>LANOポートとLAN1ポートのそれぞれに対して、RISOコンソールで表示するメニュー項目を設定します。</p>	<p>[LANO]</p> <ul style="list-style-type: none"> [スキャン] [OFF] / <u>[ON]</u> [プリント] [OFF] / <u>[ON]</u> [ボックス] [OFF] / <u>[ON]</u> [ジョブ確認] [OFF] / <u>[ON]</u> <p>[LAN1]</p> <ul style="list-style-type: none"> [スキャン] [OFF] / <u>[ON]</u> [プリント] [OFF] / <u>[ON]</u> [ボックス] [OFF] / <u>[ON]</u> [ジョブ確認] [OFF] / <u>[ON]</u>
<p>データ一括上書き消去</p> <p>この設定を [ON] にすると、[管理者設定初期化] を実行したときに、本機の内蔵ハードディスクに保存されている管理者設定の内容やユーザー情報などを上書き消去します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 一括上書き消去の対象データは、[管理者設定初期化] の設定値により異なります。(p. 21 参照) データの上書き消去が完了すると、操作パネルに完了時刻が表示されます。 	<p><u>[OFF]</u> / [ON]</p>
<p>残存データ上書き消去</p> <p>この設定を [ON] にすると、削除した文書データや保留ジョブ、一時的に保存された残存データの保存領域を自動的に上書き消去します。</p>	<p><u>[OFF]</u> / [ON]</p>


プリンター

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>サプライ在庫管理（操作パネルのみ）</p> <p>購入したインクの本数を入力しておくことで、現在のインクの在庫数が確認できます。</p> <p>在庫が指定した本数になると、画面に確認メッセージを表示したり、管理者にメールを送信したりします。</p> <p> この機能は、表示されていない場合があります。ご使用になりたい場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [購入数] 0本～99本 ・ [在庫数] 0本～99本 ・ [管理者へメール] [送信する] チェックボックス <u>チェックなし</u>、チェックあり ・ [詳細設定] [宛先] / [送信者] / [件名] / [本文] / [元の内容に戻す] / [通信テスト]
<p>保留ジョブ設定</p> <p>プリントモードの [保留ジョブ一覧] 画面の保留文書を保存しておく期間を設定します。設定期間が経過したジョブは自動的に削除されます。</p> <p>また、パソコンから受信したすべてのジョブを保留文書にしたり、受付時間終了時に自動的にプリントしたりする設定もできます。保留文書にする設定にした場合は、指定した時間内のジョブを [保留ジョブ一覧] に追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【受付時間】 保留文書の受付時間と、受付時間が終了した時に自動でプリントをするかどうかの設定をします。 [受付時間] の開始時刻と終了時刻は、テンキーでも入力できます。 <p> [タイマー運転] が設定されていても、[保留ジョブ設定] が [ON] に設定されている場合はスタンバイ状態にはなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電や、故意によって本機の主電源が切られた場合、プリントは自動で開始しません。 ・ 本機能は、[ログイン設定] が [OFF] の場合に有効となります。 [ログイン設定] が [ON] の場合は、指定した時刻になってもプリントを開始しません。 ・ [受付時間] 内に、[保留ジョブ設定] の保存期間が経過したジョブは削除されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>[OFF]</u> / [ON] ・ [分] / [時間] / [日数] (いずれか1つ選択) 1～99 (工場出荷時：時間 1時間) ・ パソコンから受信したすべてのジョブを「保留ジョブ」に追加しますか？ [許可する] チェックボックス <u>チェックなし</u>、チェックあり ・ 受付時間 <u>[OFF]</u> / [ON] ・ [開始(時:分)] / [終了(時:分)] 00:00～23:59 ・ 受付時間の終了時に、自動的に印刷を開始しますか？ [開始する] チェックボックス <u>チェックなし</u>、チェックあり
<p>ジョブ名表示切替</p> <p>プリントの [保留ジョブ一覧] 画面にジョブ名を公開するかどうかを設定します。[OFF] に設定した場合、ログインが必要な環境では、ジョブが「****」で表示されます。</p>	<p>[OFF] / <u>[ON]</u></p>
<p>プリント領域切替</p> <p>余白の大きさを切り替える設定をします。通常は、[標準] でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【標準】 上下左右5mmの余白が付きます。 ・ 【最大】 上下左右3mmの余白が付きます。 <p> 本機では、原稿サイズに関わらず、用紙の周囲にはプリントできない部分（余白）が付きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [最大] に設定した場合、原稿によっては、プリンター内部（搬送路内）がインクで汚れるおそれがあります。 その結果、用紙の端や裏面が汚れることがあります。 	<p><u>[標準]</u> / [最大]</p>

設定項目／内容	設定値／詳細
クリーニングサイクル設定 設定したプリント枚数ごとに、自動的にインクヘッドをクリーニングします。	500～3000枚 (工場出荷時 1000枚)
封筒給紙設定 封筒印刷時に、画像処理を封筒に適した設定にして、インク汚れや画像のぼやけを軽減します。給紙台の[用紙種類]で[封筒]を選択している場合に働きます。  <ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの[封筒画像処理]と合わせて設定することをおすすめします。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「封筒画像処理」を参照してください。 この機能は、表示されていない場合があります。ご使用になりたい場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。 	<ul style="list-style-type: none"> [通紙コントロール] [画質優先] / [通紙優先]
モード別排紙先設定（マルチフィニッシャー、排紙台接続時） コピーモードの[排紙先]が[自動]に設定されている場合や、プリンタードライバーの[排紙先]（[仕上げ]タブ）が[自動]に設定されている場合に、どのトレイに優先的に排紙するかを、モード別に設定します。（ステープル、パンチ、紙折り、オフセット排紙など、仕上げの機能を設定する場合は、この優先度とは関係なく排紙されます。）	<ul style="list-style-type: none"> マルチフィニッシャー接続時 [フェイスダウン排紙トレイ] / [トップトレイ] / [スタックトレイ] 排紙台W接続時 [フェイスダウン排紙トレイ] / [排紙台] オートフェンス排紙台接続時 [フェイスダウン排紙トレイ] / [排紙台]
オート排紙台フェンス設定（オートフェンス排紙台接続時） オートフェンス排紙台に用紙があるときに、排紙フェンスオープンボタンを押した場合に動かすフェンスを設定します。	[エンド] / [サイド] / [両方]
非理想科学製インク使用設定（操作パネルのみ） 理想科学製ではないインクを使用する場合に、各色ごとに禁止または許可を設定します。	p. 39参照
バーコード領域ファイル管理（RISOコンソールのみ） プリンタードライバーの[バーコード領域指定]で選択するファイルを登録します。登録されたバーコード領域指定ファイルは一覧で表示され、名称の変更や、削除ができます。 また、選択したバーコード領域指定ファイルをエクスポートし、他のプリンターへインポートすることもできます。  <ul style="list-style-type: none"> バーコード領域指定ファイルは、バーコード領域指定アプリケーションで作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> [バーコード領域ファイル] リスト [名称変更] 名称：半角 / 全角 1～30文字 [削除] [インポート] [エクスポート]

スキャナー

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>スキャナー保存先登録</p> <p>スキャンデータの保存先を、最大300件登録できます。 ここで登録した保存先は、全てのユーザーが共通で使える保存先で、[スキャン] - [PC] を選択して [保存先] をタッチしたときの [保存先] 画面に表示されます。 また、データ保存先の設定が正しく登録されているかを [通信テスト] 機能で確認できます。</p>	<p>p. 46参照</p>
<p>メール宛先登録</p> <p>スキャンデータをメールで送付する宛先を、最大300件登録できます。ここで登録した宛先は、全てのユーザーが共通で使える宛先で、[スキャン] - [メール] を選択して [宛先] をタッチしたときの [宛先] 画面に表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [新規登録] ・ [編集] ・ [削除] ・ [メールアドレス]： 半角英数字256文字以内 ・ [名前]：半角／全角1～10文字 ・ [見出し] ・ [CSVファイルの読み込み] * ・ [CSVファイルに書き出し] * <p>* RISO コンソールのみ、メール宛先ファイルの読み込みと書き出しができます。</p>
<p>カラー / 白黒判定レベル</p> <p>原稿を読み取るときの [カラーモード] を [自動] に設定している場合に、カラー原稿か白黒原稿かを自動判別するレベルを設定します。数値が大きいほど、カラー原稿として判定しやすくなります。</p>	<p>[1] / [2] / [3] / [4] / [5]</p>
<p>追加コピー表示切替</p> <p>コピーモードの [追加コピー] 機能を有効にする場合に設定します。</p> <p> ・ [追加コピー] は、直前にコピーしたジョブを再度コピーする機能です。</p>	<p>[OFF] / [ON]</p>
<p>スキャン文書保存設定</p> <p>スキャンモードで、本機内蔵ハードディスクに保存した文書を、一定期間で自動消去する場合に設定します。[ON] に設定すると、設定した保存期間で自動的に消去します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [OFF] / [ON] ・ [単位] [分] / [時間] / [日数] (いずれか1つ選択) 1～99 (工場出荷時：保存日数 1日)

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>メール送信設定</p> <p>スキャンデータをメールで送信するために必要な、メールサーバーに関する設定をします。 送信元メールアドレスは、メール受信時に「送信者欄」に表示されるアドレスです。 また、メールサーバーの設定が正しく登録されているかを「通信テスト」機能で確認できます。</p> <p> 設定にはメールサーバーの情報が必要です。詳しくは、お客様のメールサーバー管理者にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [メールサーバーの認証方式] の設定により、設定項目が異なります。 ・ メールサーバーの設定後、「通信テスト」をタッチしてください。設定が正しい場合は、「確認」画面が表示されます。通信が失敗した場合は、設定内容を再度確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [送信メールサーバー (SMTP)] : 半角英数字256文字以内 ・ [ポート番号] : 0~65535 (工場出荷時 25) ・ [使用する暗号化接続の種類] [OFF] / [TLS] / [STARTTLS] ・ [メールサーバーの認証方式] [OFF] / [PLAIN] / [LOGIN] / [CRAM-MD5] ・ [認証アカウント名] : 半角英数字256文字以内 ・ [認証パスワード] : 半角英数字16文字以内 ・ [送信メール最大容量 (MB)] : 1~500MB (工場出荷時 5MB) ・ [送信タイムアウト (秒)] : 30~300秒 (工場出荷時 60秒) ・ [送信元メールアドレス] : 半角英数字256文字以内 ・ [通信テスト]
<p>宛先/保存先直接入力切替</p> <p>スキャンデータの保存先やメールの宛先を指定する際に、直接入力を許可するかどうかを設定します。[ON] に設定すると、スキャンモードの [宛先] / [保存先] 画面に、[直接入力] ボタンが表示されます。[OFF] に設定すると、[メール宛先登録] や [スキャナー保存先登録] で設定した宛先以外には、送信できません。</p>	<p>[OFF] / <u>[ON]</u></p>

ICカードリーダー（オプション）接続時の設定

ICカードリーダーを接続した場合、以下の管理者メニュー設定項目で追加の設定が必要です。

該当機能	設定機能	詳細
ユーザー設定	ICカード情報を本機に登録する	p. 31参照
ログイン手段切替	ログイン認証の手段を設定する	p. 15参照



- 他の管理者メニュー設定項目は、ICカードリーダーを接続していない場合と同等です。必要な設定を行ってください。

ユーザー登録をする

本機を使用するユーザーを登録するための管理者メニューの設定は、複数の項目があります。運用方法によっては、設定の必要がない機能もあります。



- 設定には順番があります。必ず以下の表の順番で設定してください。順番を間違えると、やり直し作業が発生してしまいますのでご注意ください。

順番	管理者設定機能名	対象	設定内容	補足事項など
1	ログイン設定	本機を使用するユーザーを制限する場合に設定が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ■ [OFF] / [ON] ■ [自動ログアウト時間] 	プリント、コピー、スキャンモードのうちひとつでも [ON] に設定した場合、ユーザー設定が必要になります。
2	グループ設定	共有フォルダーを使用するユーザーを制限する場合に設定が必要です。	共有フォルダーに利用できるグループを設定します。	ここで設定したグループは、他の設定でも使用されます。(p. 15参照)
3	見出し設定	[ログイン] 画面のユーザーリストや、[宛先]画面を使用するときに、ユーザー名の見出しを設定しておくことで探しやすいになります。	12個のボタンに、任意の文字を割り当てます。 半角/全角2文字	工場出荷時は、50音順に設定されています。
4	ユーザー設定	ログインを許可するユーザーを登録します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ [ユーザー名] ■ [仮パスワード発行] (1~16文字) ■ [見出し] ■ [管理者権限] ■ [所属グループ] (任意) ■ [パソコンログインID] ■ 各モードの [使用許可設定] / [機能制限] (任意) 	RISO コンソールの [管理者メニュー] にある [ユーザー設定] には、CSVファイルの読み込みや書き出しの機能がありません。複数のユーザーを一括して登録する場合に便利です。



- 外部サーバー認証を設定する場合、ユーザーの登録は不要です。

ログイン設定

各モードを利用する際にログインを必要とするかどうかと、ログイン後の動作を設定します。本機を使用するユーザーを制限したい場合に設定します。[ON] に設定した場合は、必ず「ユーザー登録をする」の2～3を設定してください。

各モードへの【ログイン設定】

各モードを利用する際にログインを必要とするかどうかを設定します。

設定値：[OFF] / [ON] (工場出荷時 [OFF])

【自動ログアウト時間】

本機を一定時間操作しなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

設定値：10～3600秒 (工場出荷時300秒)

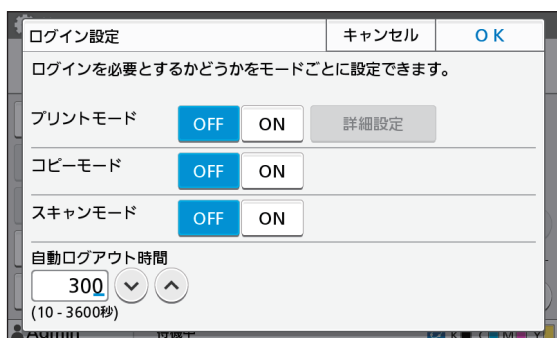
【詳細設定】

プリントモードにログインするとき、保留文書のプリントを自動的に開始するかを設定します。

設定値：[OFF] / [ON] (工場出荷時 [ON])

1 【管理者メニュー】画面で【ユーザー管理】 - 【ログイン設定】を選択する

2 各設定をする



3 【OK】をタッチする



• この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

【ログイン設定】を【ON】に設定すると

プリント/コピー/スキャンの各モードでの【ログイン設定】の設定内容はボックスモードやUSBモードにも影響を与えます。【ログイン設定】を【ON】にしたときにボックスモードやUSBモードでログインが必要になるかは、以下のとおりです。

【ログイン設定】	ボックスモード		USBモード	
	保存	利用	保存	利用
プリントモード [ON]	必要	必要	不要	必要
コピーモード [ON]	必要	必要	不要	不要
スキャンモード [ON]	不要	不要	必要	不要

グループ設定

ユーザーの属性を示すグループを設定します。ここで設定したグループは、【ユーザー設定】の【所属グループ】で使用されます。グループは、最大60個設定できます。

1 【管理者メニュー】画面で【ユーザー管理】 - 【グループ設定】を選択する

2 【追加】をタッチする



3 グループ名を入力し、[OK] をタッチする



4 [閉じる] をタッチする



- グループの設定内容の変更や削除を行う場合は、以下の操作を行ってください。

グループ名を変更する場合：

[グループ設定] 画面でグループを選択し、[編集] をタッチして、グループ名を修正する。

削除する場合：

[グループ設定] 画面でグループを選択し、[削除] をタッチする。

- ここで設定したグループは、以下の設定でも使用されます。
 - [ユーザー設定] の [所属グループ]
 - [共有フォルダー設定] の [許可グループ選択]
 - [アカウント情報] (RISOコンソールのみ)
- この機能はRISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

ユーザー設定

[ログイン設定] を [ON] に設定している場合に、本機を使用するユーザーの登録をします。ユーザーは、最大1,000人登録できます。各ユーザーの属性や使用権限などを設定します。



- [ユーザー設定] をする前に、[グループ設定] を行ってください。(p. 28参照)

[ユーザー名]

ログインする際のユーザー名を設定します。

使用できない文字："/ [] : + | < > = ; , * ? ¥ '

[仮パスワード発行]

仮パスワードを設定します。

半角小文字の英数字1～16文字で入力してください。

[見出し]

登録ユーザーがどの見出しに属するかを設定します。



- [見出し] は正しく設定してください。本機ではユーザー名から自動的に見出しを設定することはできません。

[管理者権限]

登録ユーザーに、管理者権限を与えるかを設定します。

設定値：[OFF] / [ON] (工場出荷時 [OFF])

[所属グループ]

ユーザーの所属グループを最大3個登録できます。あらかじめ [グループ設定] を設定する必要があります。

[パソコンログインID]

登録ユーザーがプリントする際に使用する、パソコンのログインIDを入力します。

[使用許可設定]

登録ユーザーが使用できるモードを設定します。

設定値：[OFF] / [ON] (工場出荷時 [ON])

[機能制限]

プリントモード/コピーモードの機能制限を設定します。両モードの機能制限を一括して設定することもできます。

- カラーコピー/カラープリント可否 (ORPHIS FW1230では表示されません。)

登録ユーザーにカラー/2色コピー、カラー/2色プリントを許可するかどうかを設定します。

設定値：[OFF] / [ON] (工場出荷時 [ON])

- [カラー枚数制限] / [2色枚数制限]

カラー/2色コピー、カラー/2色プリントの使用枚数の上限を設定します。

設定値：チェックなし/チェックあり (工場出荷時チェックなし) (1～99999枚)

- [単色枚数制限]

単色コピー、単色プリントの使用枚数の上限を設定します。

設定値：チェックなし/チェックあり (工場出荷時チェックなし) (1～99999枚)



- [プリント/コピー機能制限設定] の設定により、[プリント機能制限] 画面や [コピー機能制限] 画面の設定項目が異なります。

[CSVファイルの読み込み] (RISOコンソールのみ)
パソコンから本機のハードディスクにユーザーリストの
ファイルを読み込みます。

[CSVファイルに書き出し] (RISOコンソールのみ)
本機のハードディスクからパソコンにユーザーリストの
ファイルを書き出します。

1 [管理者メニュー] 画面で [ユーザー管理] - [ユーザー設定] を選択する

2 [追加] をタッチする



3 ユーザー名を入力し、[次へ] をタッチする



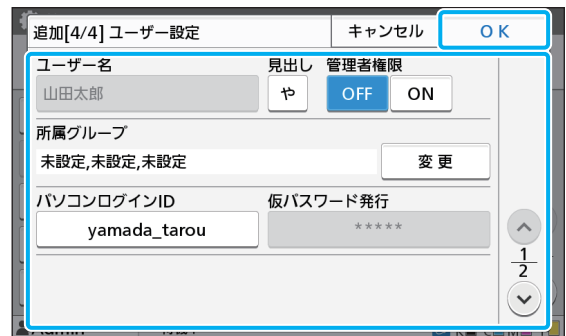
4 仮パスワードを設定し、[次へ] をタッチする



5 仮パスワードを再入力し、[次へ] をタッチする

- 設定した仮パスワードは、登録したユーザーにお伝えください。ユーザーが初めてログインするときに必要です。

6 各設定をする



- [プリントモード]の[使用許可設定]を[ON]に設定している場合、[パソコンログインID]を間違えると、パソコンからジョブを受信できません。入力後、必ず再確認してください。
- [見出し]の設定を必ず行ってください。

7 [OK] をタッチする

- ユーザーの設定内容の変更や削除を行う場合は、以下の操作を行ってください。
削除する場合：
[ユーザー設定]画面でユーザーを選択し、[削除]をタッチする。
設定内容を変更する場合：
[ユーザー設定]画面でユーザーを選択し、[編集]をタッチして、各設定をする。
- この機能はRISOコンソールでも設定できます。(p. 12参照)

認証カードを登録する

ICカードリーダーが接続されている場合は、登録したユーザーの認証カード情報を登録できます。

1 [ユーザー設定] 画面でユーザー名を選択する





2 [カード登録] をタッチする



[ICカードをセットしてください] のメッセージが表示されます。

3 認証カードをICカードリーダーにセットする

登録が完了すると [ユーザーの登録が完了しました] のメッセージが表示されます。

• ICカード情報を登録すると、ユーザー名左側のユーザーマーク  が、カードマーク  に変更されます。

4 [閉じる] をタッチする

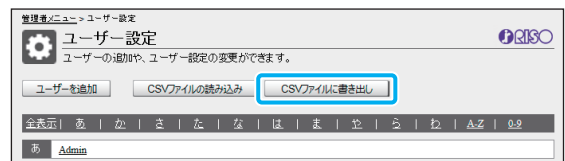
[ユーザー設定] 画面に戻ります。

複数のユーザーを一括して登録する (RISOコンソール)

複数のユーザーを一括して登録するには、RISOコンソールを使うと便利です。パソコンにCSVファイルのフォーマットを保存し、ユーザー情報（ユーザー名、PCログイン名、管理者権限の有無等）を入力後、再度ファイルを読み込みます。CSVファイルについては、「付録」を参照してください。

1 RISO コンソールを起動し、[管理者メニュー] 画面で、[ユーザー設定] をクリックする

2 [CSVファイルに書き出し] をクリックし、CSVファイルをパソコンに保存する

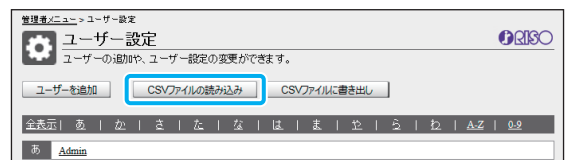


3 書き出したCSVファイルを開いて、ユーザー情報を入力する

フォーマットに従って入力後、保存してください。最大1,000人登録できます。

• CSVファイルのユーザー設定項目は、機能の制限や機種、オプションの接続により異なる場合があります。

4 [CSVファイルの読み込み] をクリックし、入力したファイルを読み込む

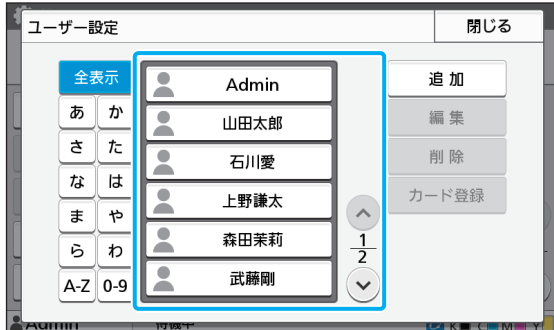


[CSVファイルの読み込み] が、正常に完了しなかった場合はメッセージが表示されます。CSVファイルの設定やユーザー登録数を再度確認してください。

ICカードリーダーが接続されている場合は、引き続き、本機に認証カードの登録を行う必要があります。

5 本機の [管理者メニュー] 画面で [ユーザー管理] - [ユーザー設定] を選択する

6 ユーザー名を選択する






7 [カード登録] をタッチする



[ICカードをセットしてください] のメッセージが表示されます。

8 認証カードを IC カードリーダーにセットする

登録が完了すると、[ユーザーの登録が完了しました] のメッセージが表示されます。

 • ICカード情報を登録すると、ユーザー名左側のユーザーマーク  が、カードマーク  に変更されます。

9 [閉じる] をタッチする

引き続きカードの登録を行う場合は、手順6～9を繰り返してください。

認証サーバー設定（外部サーバー認証）を設定する

認証サーバー設定を使用すると、プリンターのユーザー管理を外部サーバーで行うことができます。外部サーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。外部サーバーでユーザー情報を集中管理するため、プリンターへのユーザー情報の登録が不要となります。



- ・外部サーバー認証を導入すると、導入前に本機に保存されていた以下の設定が消去されます。
 - 管理者メニューの [ユーザー設定] に登録されていたユーザー情報
 - 全ユーザーの個人フォルダーと、個人フォルダーに保存されていたボックス文書
 - 管理者メニューの [グループ設定] に登録されていたグループ
 - 全ユーザーの [お気に入り登録] [初期値に登録] の設定内容



- ・ユーザー情報は、導入前にバックアップできます。バックアップするには、RISOコンソールの管理者メニューの [ユーザー設定] で、CSVファイルをパソコンにダウンロードしてください。

外部サーバー認証によって制限される機能

外部サーバー認証機能を設定すると、管理者以外のユーザーを本機で管理しないため、利用が制限される機能があります。

■ コピーモード

- ・管理者以外のユーザーは、[お気に入り登録] ができません。[お気に入り] 画面には、管理者が設定した機能が表示されます。
- ・[ボックス] モードでは、個人フォルダーを使用することができません。
- ・管理者以外のユーザーは、現在の設定値を初期値として登録したり、工場出荷時の設定値に戻したりすることができません。

■ ユーザー情報

- ・管理者以外のユーザーは、ログインパスワードの変更ができません。
- ・[認証サーバー設定] または [外部システム連携] が [ON] に設定されている場合は、[ログイン手段切替] は表示されません。常に [ICカード/ユーザー名選択] に設定された状態になります。

■ 管理者設定

- ・ユーザーの管理を外部サーバーで行うため、本機ではユーザーの管理や登録ができません。そのため、[ユーザー設定]、[グループ設定]、[制限枚数集計リスト] は使用できません。
- ・ICカードリーダー接続時でも、使用枚数制限の登録はできません。


■ 設定項目

【認証サーバー設定】で設定する項目は、以下のとおりです。



・ 下線は工場出荷時の設定です。

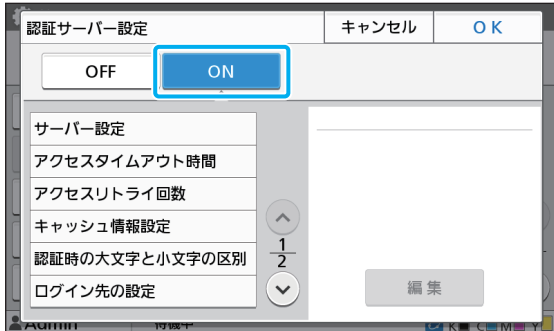
設定項目／内容	設定値／詳細
<p>サーバー設定</p> <p>LDAPサーバー（プライマリー／セカンダリー）および、Kerberosサーバー（プライマリー／セカンダリー）の追加／編集／削除や優先順の設定をします。</p>	<p>LDAPサーバー （プライマリー／セカンダリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [アドレス]：IP アドレスまたはサーバー名、半角英数字256文字以内 ・ [ポート]：1～65535（工場出荷時：389） ・ [検索用ログイン名] *¹：半角英数字256文字以内 ・ [検索用パスワード] *²：半角英数字32文字以内 ・ [検索起点] *³ ・ [検索範囲] *⁴： [起点の階層のみ] / [起点から1つ下の階層まで] / <u>[起点から下の階層すべて]</u> <p>Kerberosサーバー （プライマリー／セカンダリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [レルム名]：半角英数字64文字以内（大文字のみ） ・ [ログイン先の表示名] *⁵：全半角10文字以内 ・ [アドレス]：IP アドレスまたはサーバー名、半角英数字256文字以内 ・ [ポート]：1～65535（工場出荷時：88）
<p>ICカード認証の設定</p> <p>認証で使用するICカードの属性を最大5個設定できます。また、設定した属性の有効／無効を設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ICカードIDの属性] [OFF] / <u>[ON]</u> ・ [ICカードの認証に使用する属性] <u>[OFF]</u> / [ON]
<p>アクセスタイムアウト時間</p> <p>認証サーバーにアクセスするときのタイムアウト時間を設定します。</p>	<p>[OFF] / <u>[ON]</u> 5～120秒 (工場出荷時：5秒)</p>
<p>アクセスリトライ回数</p> <p>認証サーバーへのアクセス失敗時のリトライ回数を設定します。</p>	<p>0～5回 (工場出荷時：0回)</p>
<p>キャッシュ情報設定</p> <p>認証サーバーへのアクセス失敗時に、キャッシュ情報を利用してログインを試みるかを設定します。[ON] に設定した場合、キャッシュ情報をリセットできます。</p>	<p><u>[OFF]</u> / [ON] [キャッシュのクリア] チェックボックス</p>
<p>認証時の大文字と小文字の区別</p> <p>認証時に大文字と小文字を区別して、別のユーザーIDと判断するかを設定します。</p>	<p><u>[OFF]</u> / [ON]</p>

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>ログイン先の設定</p> <p>認証サーバー設定を使用してログインする際に、ドメインを選択する [ログイン先の選択] 画面を表示するかどうかを設定します。最大3個のドメインが表示されます。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> • [ログイン先の設定] を [OFF] に設定した場合、[サーバーの設定] で指定した優先度に従って認証します。 • [ネットワーク設定 (詳細)] でDNS サーバー (IPv4) / (IPv6) を使用しない設定にしている場合は、ドメインの設定はできません。 • Kerberos サーバーの設定が空欄の場合は、[ログイン先の選択] 画面ではLDAP サーバーのIP アドレスが表示されます。 </p>	<p>[OFF] / [ON]</p>
<p>ユーザー IDの属性</p> <p>認証サーバーにアクセスするときのユーザー IDの属性を設定します。</p>	<p>半角英数字32文字以内</p>

- * 1 認証サーバーにアクセスするときの検索用ログイン名です。
- * 2 認証サーバーにアクセスするときの検索用パスワードです。
- * 3 認証サーバー上で、ユーザーを検索するときの起点となるDN (Distinguished Name) です。
- * 4 認証サーバーにアクセスするときの検索範囲です。
- * 5 認証サーバーにログインする際の [ログイン先の選択] 画面に表示されます。

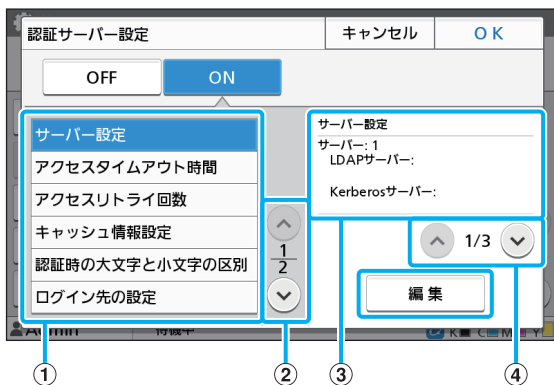
1 [管理者メニュー] 画面で [ユーザー管理] - [認証サーバー設定] を選択する

2 [ON] をタッチする



3 各項目を設定する

設定したい項目を選択して [編集] をタッチします。



- ① 設定項目
- ② 設定項目のページを切り替え
- ③ 設定内容表示
- ④ 設定内容表示のページを切り替え

画面の表示に従って設定します。
各項目を設定したら [閉じる] または [OK] をタッチします。
[認証サーバー設定] 画面に戻ります。

• LDAPサーバー（プライマリー/セカンダリー）やKerberosサーバー（プライマリー/セカンダリー）は、認証するための問い合わせ先として最大3個（合計6個）設定できます。各サーバーの設定内容の変更や削除および認証時の問い合わせ優先度の設定を行う場合は、[サーバーの設定] 画面で以下の操作を行ってください。

認証先のサーバーを追加する場合：

[追加] をタッチし、各サーバーに関する設定を行う。

設定内容を変更する場合：

変更したいサーバーを選択し、[編集] をタッチする。設定内容の詳細を変更する。

削除する場合：

削除したいサーバーを選択し、[削除] をタッチする。

認証時の問い合わせ優先度を設定する場合：

設定したいサーバーを選択し、[↑] [↓] で優先度の設定を行う。

- Kerberosサーバーを使用していない場合は、Kerberosサーバーの登録は不要です。[サーバーの設定] 画面のKerberosサーバーは、空欄で表示されます。
- Kerberosサーバーを登録しない場合は、ICカードによる認証のみとなり、PINコードによるログイン認証は使用できません。

4 必要な項目をすべて設定したら、[認証サーバー設定] 画面で [OK] をタッチする

処理が完了すると、[管理者メニュー] 画面が表示されます。

• サーバー情報の削除中は、[処理中] 画面が表示されます。[処理中] 画面の表示中に、本機の主電源スイッチを切らないでください。誤動作、故障の原因となることがあります。

• この機能はRISOコンソールでも設定できます。(p. 12参照)

外部システム連携を利用する

お使いの外部プリントサーバーの機能や連携方法によって、設定項目やユーザーができることが異なります。設定項目については、「外部システム連携」(p. 17)を参照してください。

MPSソフトウェアを利用して連携する場合

外部プリントサーバー (MPSソフトウェア) にアカウントを持つユーザーの認証および、プリント/コピージョブの管理や、課金を行います。外部プリントサーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。

外部プリントサーバーでユーザー情報を集中管理するため、ユーザー情報を本機に登録する必要がありません。



- [外部システム連携] を設定すると、導入前に本機に保存されていた以下の設定が消去されます。
 - 管理者メニューの [ユーザー設定] に登録されていたユーザー情報
 - 全ユーザーの個人フォルダーと、個人フォルダーに保存されていたボックス文書
 - 管理者メニューの [グループ設定] に登録されていたグループ
 - 全ユーザーの [お気に入り登録] [初期値に登録] の設定内容



- ユーザー情報は、[外部システム連携] を設定する前にバックアップできます。バックアップするには、RISOコンソールの管理者メニューの [ユーザー設定] で、CSVファイルをパソコンにダウンロードしてください。

外部システム連携によって制限される機能

ユーザーの管理を外部プリントサーバーで行うため、利用が制限される機能があります。

■ コピーモード/ボックスモード

- 管理者以外のユーザーは、[お気に入り登録] ができません。
[お気に入り] 画面には、管理者が設定した機能が表示されます。
- [ボックス] モードでは、個人フォルダーを使用することができません。
- 管理者以外のユーザーは、現在の設定値を初期値として登録したり、工場出荷時の設定値に戻したりすることができません。

■ ユーザー情報

- 管理者以外のユーザーは、ログインパスワードの変更ができません。
- [ログイン手段切替] でログイン手段を選択することはできません。常に [ICカード/ユーザー名選択] に設定された状態になります。

■ 管理者設定

- ユーザーの管理を外部サーバーで行うため、本機ではユーザーの管理や登録ができません。そのため、[ユーザー設定]、[グループ設定]、[制限枚数集計リスト] は使用できません。
- [ログイン設定] を [OFF] にした場合、ユーザー認証ができず、ジョブのプリントやコピーができません。
[ログイン設定] は、必ず [ON] に設定してください。



- [保留ジョブ設定] は、外部のプリントサーバー側のホールド機能と競合するため、使用できません。

本機内蔵のブラウザを利用して連携する場合

本機内蔵のブラウザを利用して外部プリントサーバーに接続し、サーバーに保存されたジョブを本機でプリントしたり、サーバーに登録されたジョブをパソコンから本機に送信してプリントしたりします。

■ ユーザーの管理と認証

- ・ 管理者メニューの [ユーザー設定] や [ログイン設定] での設定内容に基づいて本機で行います。

■ ブラウザーの起動

- ・ [ファンクションキー登録] で、ブラウザを起動するファンクションキーを設定できます。

タイマー運転を設定する

指定した時刻に自動的に本機の電源を入れたり切ったりできます。

起動/終了時刻と曜日の組み合わせパターンを10セットまで登録できます。

[OFF] / [ON]

[ON] にすると、タイマー運転を設定します。

[起動] / [終了]

タイマー運転で本機を起動するか終了するかを設定します。

時刻の指定

起動時刻と終了時刻を設定します。

時間は00~23、分は00~59で入力します。

[適用する曜日]

起動/終了時刻を適用したい曜日を選択します。

● 操作パネルの [電源] キーで電源を切った状態では、プリントジョブを受け付けません。

- ・ 停電や、故意によって本機の主電源が切られた場合、主電源スイッチを入れただけではタイマー運転機能は働きません。必ず、操作パネルの [電源] キーを押して電源を入れてください。その後は、タイマー運転機能が働きます。

- ・ 本機の主電源スイッチを切っても、タイマー運転の設定は保持されます。



・ 保留文書は、本機の操作パネルの [電源] キーで電源を切っても、次に電源を入れるときまで保存されます。

・ タイマー運転により電源を切った時の消費電力は、スタンバイ時と同等です。

1 [管理者メニュー] 画面で [システム] - [タイマー運転] を選択する

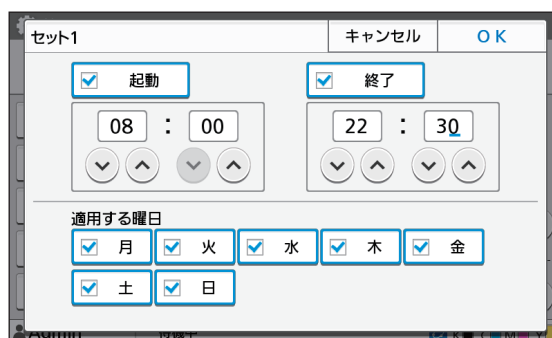
2 [ON] をタッチする



3 設定内容を保存するセットを選択して [編集] をタッチする

4 [起動] と [終了] の時刻を設定する

それぞれのチェックボックスにチェックマークをつけると時刻を設定できます。



5 適用する曜日を選択する

複数の曜日に同じ時刻を設定できます。

6 [OK] をタッチする

- ・ [タイマー運転] を [ON] にした場合、終了時刻の1分前になると操作パネルに [確認] 画面が表示されます。



電源を切りたくない場合は、[保留] をタッチします。

- ・ [保留] がタッチされずに1分経過すると、終了処理を開始します。
- ・ [保留] をタッチすると [確認] 画面をいったん消して終了処理を保留にできます。1分後に、再度 [確認] 画面が表示されます。

- ・ 以下の場合、タイマー運転で本機を終了することはできません。
 - 紙詰まりやサービスコール、ユニットエラー、セット関連エラー、ワーニングエラー（用紙なしエラーを除く）が発生している場合
 - 設定時刻に本機を使用している場合
- ・ この機能は RISO コンソールでも設定できます。（p. 12参照）

非理想科学製インク使用設定（操作パネルのみ）

理想科学製ではないインクを使用することを色ごとに許可します。

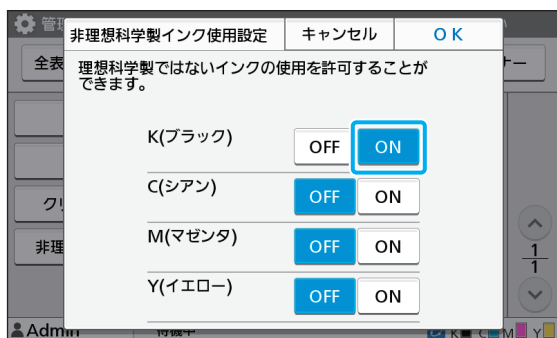
[OFF] / [ON]

- ・ 理想科学製ではないインクを使用する場合、以下の問題が発生するおそれがあります。
 - インク自体の性能の違いによる、印刷のかすれや色調の変化
 - インクと直に接触する部品（インクジェットヘッドやインク経路など）が、インクと化学反応を起こすことによる印刷のかすれ、あるいはヘッドの故障（交換）
 - インク経路（チューブ等）の部品がインクと化学反応を起こして変質し、経路に空気が侵入することによるインクの漏出（インク経路の交換）
- ・ 理想科学製ではないインクを使用することに起因する故障や機能の低下は、製品保証およびサービス契約の対象外になります。インクジェットヘッドや、インク経路は価格の高い部品です。また、交換作業には長い時間を必要とします。
- ・ インクカートリッジによっては、[ON] に設定しても使用できない場合があります。

理想科学製ではないインクを使用する場合は、上記リスクをご理解の上、以下の設定を実行してください。

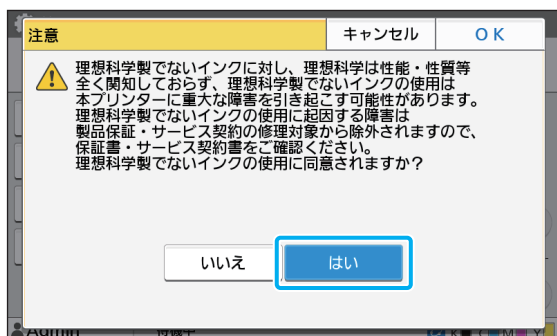
- 1 [管理者メニュー]画面で[プリンター]-[非理想科学製インク使用設定]を選択する

2 許可するインクに対して [ON] を選択し、[OK] をタッチする



- ORPHIS FW2230では [K (ブラック)] と [R (レッド)] が、ORPHIS FW1230では [K (ブラック)] のみが表示されます。

3 注意文を確認の上、[はい] をタッチする



ネットワーク設定 (IPv4)

本機をインターネットプロトコルVer.4のネットワーク環境に接続するための設定です。

[ネットワーク上に表示するプリンタ名]

半角16文字以内で入力します。
(工場出荷時 RISO PRINTER)

[LAN0] / [LAN1]

本機裏面のLAN0端子とLAN1端子に接続した二つのネットワークの情報を設定できます。

[DHCPサーバー]

DHCPサーバーを使うネットワーク環境でお使いの場合は [ON] を選択します。DHCPサーバーがネットワーク上の各クライアントPCに、IPアドレスを自動で割り当てます。

DHCPサーバーを使わない場合は [OFF] を選択します。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。

(工場出荷時 OFF)

[IPアドレス] / [サブネットマスク] / [ゲートウェイアドレス]

[DHCPサーバー] で [OFF] を選択したときに設定します。



- IPアドレスを手動で割り当てている場合は、本機のLAN0とLAN1で別のIPアドレスを割り当ててください。

- この機能はRISOコンソールでも設定できます。(p. 12参照)



- 以下の項目は、RISOコンソールで設定する場合のみ表示されます。

- ドメイン名称
- MACアドレス
- コメント
- RISO Console接続方法
- Link Speed/Duplex Mode

ネットワーク設定 (IPv6)

本機をインターネットプロトコルVer.6のネットワーク環境に接続するための設定です。

【ネットワーク上に表示するプリンタ名】

半角16文字以内で入力します。
(工場出荷時 RISO PRINTER)

【LAN0】 / 【LAN1】

本機裏面のLAN0端子とLAN1端子に接続した二つのネットワークの情報を設定できます。

【アドレス指定方法】

[手動]、[ステートレスアドレス]、[ステートフルアドレス] から選択します。

[手動] 選択時は、[IPアドレス]、[プレフィックス長]、[ゲートウェイアドレス] の数値を設定してください。
(工場出荷時 手動)

【IPアドレス】 / 【プレフィックス長】 / 【ゲートウェイアドレス】

[アドレス指定方法] で [手動] を選択したときに設定します。



- ・ IPアドレスを手動で割り当てている場合は、本機のLAN0とLAN1で別のIPアドレスを割り当ててください。
- ・ この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)



- ・ 以下の項目は、RISOコンソールで設定する場合のみ表示されます。
 - ドメイン名称
 - MACアドレス
 - コメント
 - RISO Console接続方法
 - Link Speed/Duplex Mode

ネットワーク設定 (詳細)

ネットワーク環境の詳細を設定します。ご使用のネットワーク環境により設定項目が異なります。

【LAN0】 / 【LAN1】

本機裏面のLAN0端子とLAN1端子に接続した二つのネットワークの情報を設定できます。

【プロキシ】

プロキシサーバーを使用する場合に設定します。

【DNS (IPv4)】 / 【DNS (IPv6)】

DNSサーバーを使用して、ドメイン名をIPアドレスに変換します。

ご使用のインターネットプロトコルバージョンに応じた設定にしてください。

【WINS】

WINSサーバーを使用して、PC名をIPアドレスに変換します。

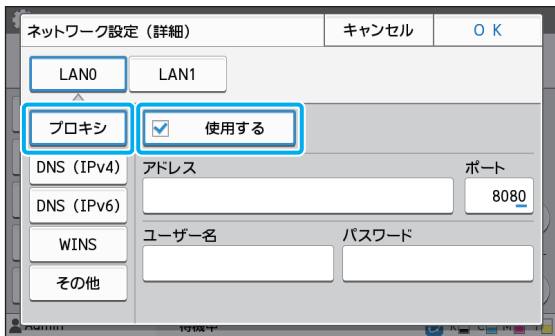
【その他】

RISOコンソールとの接続方法を選択します。

- 1 【管理者メニュー】画面で【システム】 - 【ネットワーク設定 (詳細)】を選択する
- 2 【LAN0】 または 【LAN1】 を選択する

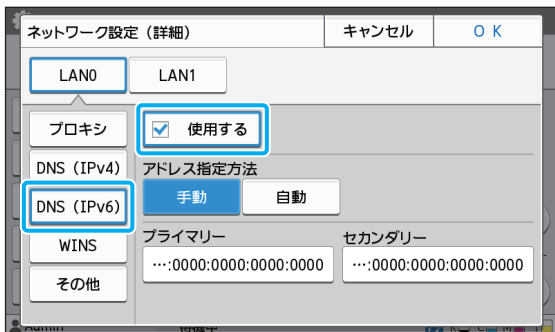


3 [プロキシ] を選択し、[使用する] にチェックマークをつける

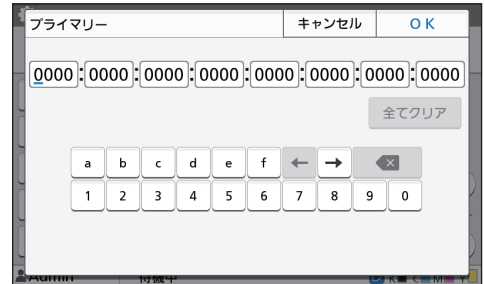


- [使用する] にチェックマークをつけると、[アドレス]、[ポート]、[ユーザー名]、[パスワード] の各テキストボックスに入力できるようになります。[ポート] 以外のテキストボックスは、タッチすると入力画面が表示されます。入力したら [OK] をタッチします。
[ポート] にはテンキーで入力してください。

4 [DNS (IPv4)]、[DNS (IPv6)] を選択し、各項目を設定する



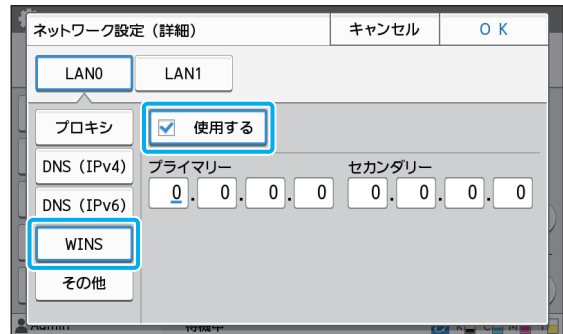
- [使用する] にチェックマークをつけると [DHCPサーバー] / [アドレス指定方法] を設定できるようになります。
- [DHCPサーバー] / [アドレス指定方法] で [OFF] / [手動] を選択すると [プライマリ] や [セカンダリ] に入力できるようになります。
- IPv4ではアドレスをテンキーで入力します。IPv6では [プライマリ] や [セカンダリ] をタッチすると入力画面が表示されます。



アドレスを入力したら [OK] をタッチします。


5 [WINS] を選択し、各項目を設定する

- [使用する] にチェックマークをつけると [プライマリ] と [セカンダリ] に入力できるようになります。




6 [その他] を選択し、各項目を設定する



- 
 RISO コンソールをhttps*で接続する場合は、ネットワークの伝送モード [Link Speed/Duplex Mode] の設定が必要です。(RISOコンソールのみ)
 - * httpsは、プロトコルhttpに暗号機能が付加されます。
- [SNMPコミュニティ名] の初期値を変更しない場合、SNMP通信でのコミュニティ名は「public」となります。
- SNMPコミュニティ名のテキストボックスには、半角英数字 (大文字/小文字) と、以下の半角の記号が入力できます。
.. / : : @ [¥] ^ _

7 必要な項目をすべて設定したら [OK] をタッチする

[管理者メニュー] 画面に戻ります。

- 
 この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

IPアドレス制限設定 (IPv4 または IPv6)

本機にアクセスできるパソコンのIPアドレスとサブネットマスクまたはプレフィックス長を、LAN0、LAN1のそれぞれで最大12件登録できます。

[LAN0] / [LAN1]

本機裏面のLAN0端子とLAN1端子に接続した二つのネットワークの情報を設定できます。

[OFF] / [ON]

本機にアクセスできるパソコンを制限する場合に設定します。[ON] に設定するとアクセスを許可するアドレスを設定できます。

[IPアドレス]

[サブネットマスク] (IPv4使用時)

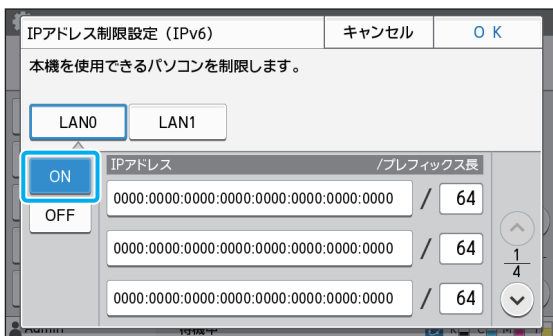
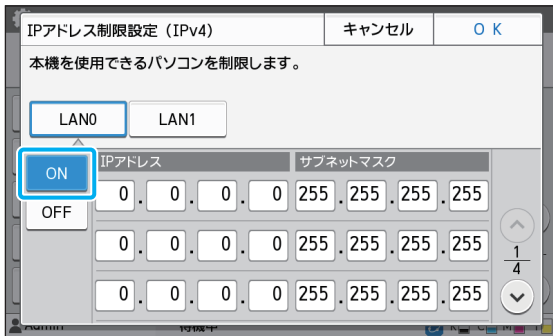
[プレフィックス長] (IPv6使用時)

1 [管理者メニュー] 画面で [システム] - [IPアドレス制限設定 (IPv4)] または [IPアドレス制限設定 (IPv6)] を選択する

2 [LAN0] または [LAN1] を選択する



3 [ON] を選択し、各項目を設定する



- 1 台のパソコンを指定してアクセスを許可する場合
指定するパソコンのIPアドレスに対して、サブネットマスク:255.255.255.255を設定します。
- 同じサブネットの複数のパソコンからアクセスを許可する場合
パソコンのIPアドレスに対して、サブネットマスク:255.255.255.0を設定します。
例) IPアドレス:192.168.0.100を設定した場合、"192.168.0.1"~"192.168.0.254"のパソコンがアクセス可能となります。
それ以外のIPアドレスを持つパソコンは、アクセスできません。

4 [OK] をタッチする

- この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

IPsec設定

暗号化技術 (IPsec) を用いたネットワーク環境でプリンターをお使いの場合、IPsec 設定でプリンターのセキュリティを強化できます。プリントデータ、ボックス文書、スキャン文書の漏えいや管理者設定の改ざんを防止できます。



- [IPsec 設定] の [セキュリティポリシー設定] は、ご使用のネットワーク環境により設定項目が異なります。

[LAN0] / [LAN1]

本機裏面の LAN0 端子と LAN1 端子に接続した二つのネットワークの情報を設定できます。

[OFF] / [ON]

IPsecを設定するかを選択します。

[ON] を選択すると、セキュリティポリシーを設定できます。

[セキュリティポリシー]

[追加] / [編集] / [削除] / [優先度変更]

セキュリティポリシーを LAN0、LAN1 のそれぞれで最大10個登録できます。

登録したセキュリティポリシーは、編集したり削除したりできます。優先順を変更することもできます。

1 [管理者メニュー] 画面で [システム] - [IPsec設定] を選択する

2 [LAN0] または [LAN1] を選択する



3 [ON] を選択する

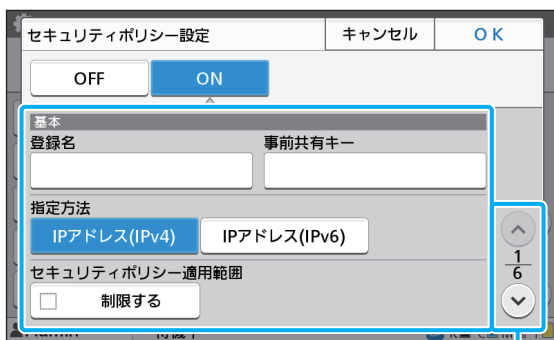


4 [追加] をタッチする

[セキュリティポリシー設定] 画面が表示されたら [ON] をタッチします。

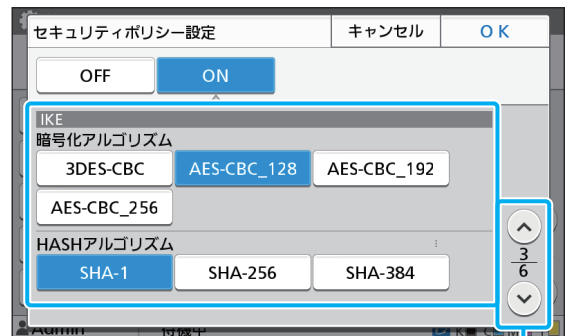
- セキュリティポリシーはLAN0、LAN1のそれぞれで最大10個登録できます。また、[↑][↓]で優先度を入れ替えることができます。
- 登録済みのセキュリティポリシーの設定を変更、または削除する場合は、該当するセキュリティポリシーを選択し、[編集]または[削除]をタッチしてください。
- セキュリティポリシーの追加や設定変更、削除を行わない場合は [OK] をタッチしてください。

5 [基本] 画面で各項目を設定する



設定画面のページを切り替え

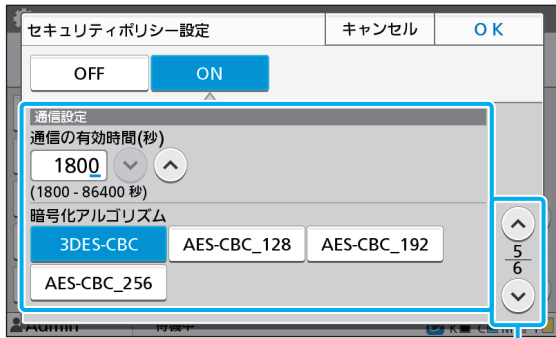
6 [⏮] をタッチして [IKE] 画面を表示し、各項目を設定する



設定画面のページを切り替え

- [⏮] をタッチすると [DHグループ] が設定できます。

7 [⏪] をタッチして [通信設定] 画面を表示し、各項目を設定する



設定画面のページを切り替え



- [⏪] をタッチすると [HASH アルゴリズム] が設定できます。

8 [OK] をタッチする

セキュリティーポリシー設定の詳細が設定され、[IPsec設定] 画面に戻ります。

9 [OK] をタッチする

[管理者メニュー] 画面に戻ります。



- この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

スキャナー保存先登録

スキャンデータの保存先として、ネットワーク上のパソコンを登録します。ここで登録した保存先は、すべてのユーザーが共通で使える保存先です。

【新規登録】 / 【編集】 / 【削除】

保存先の登録や、編集、削除をします。

【新規登録】 をタッチすると保存先の詳細を設定できます。

【表示名】

保存先の表示名は、半角または全角1文字以上10文字以内で入力してください。

【転送プロトコル】

[FTP] [SMB] [SMB(UNC)] から設定してください。

保存先の詳細設定

- 【保存先サーバーのIPアドレスまたはURL】
- 【保存先ディレクトリ】
- 【保存先の共有名】
- 【保存先】
- 【保存先ログイン名】
- 【保存先ログインパスワード】

転送プロトコルの設定により、設定する項目が異なります。

【保存先の共有名】 には共有フォルダー名を設定します。ドメイン環境やActive Directory環境でパソコンをお使いの場合、【保存先ログイン名】 には「(ドメイン名) ¥ (ログイン名)」を設定します。

【保存先ログインパスワード】 は半角16文字以内、その他の項目は半角または全角256文字以内で入力してください。

【見出し】

保存先に登録した表示名の見出しを設定します。

【通信テスト】

スキャンデータの保存先の設定が正しく登録されているかを確認できます。

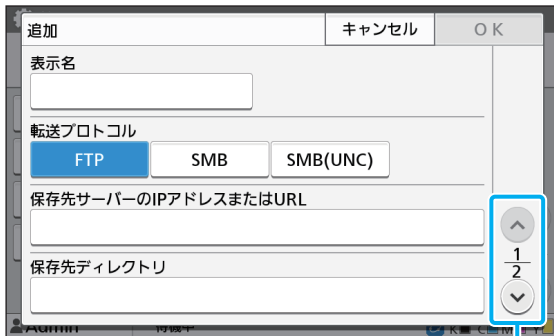
1 【管理者メニュー】画面で【スキャナー】-【スキャナー保存先登録】を選択する

2 【新規登録】 をタッチする

【追加】 画面が表示されます。

3 各項目を設定する

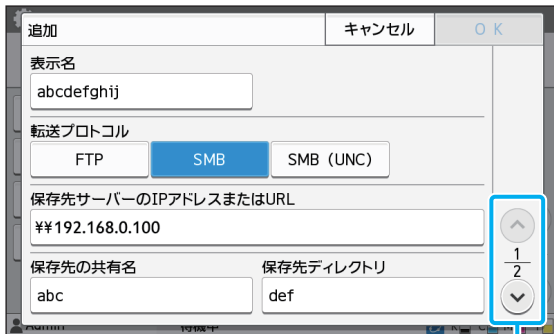
転送プロトコルでFTPを選択した場合



設定画面のページを切り替え

- [保存先ディレクトリ] は、FTPサーバーで設定した保存先のフォルダー名を設定します。
- [保存先ログイン名] は、パソコンで使用しているユーザー名を設定します。
- [保存先ログインパスワード] は、上記ユーザー名で使用するパスワードを設定します。

転送プロトコルでSMBを選択した場合



設定画面のページを切り替え

- [保存先サーバーのIPアドレスまたはURL]、[保存先の共有名] (共有フォルダ名)、[保存先ディレクトリ] (サブフォルダ名) を設定します。
- [保存先ログイン名] は、パソコンで使用しているユーザー名を設定します。
- [保存先ログインパスワード] は、上記ユーザー名で使用するパスワードを設定します。

転送プロトコルでSMB (UNC) を選択した場合



設定画面のページを切り替え

- [保存先] は、¥¥ (IP アドレスまたは PC 名) ¥ (共有フォルダ名) ¥ (サブフォルダ名) を設定します。
- [保存先ログイン名] は、パソコンで使用しているユーザー名を設定します。
- [保存先ログインパスワード] は、上記ユーザー名で使用するパスワードを設定します。

4 設定が正しく登録されているかを確認するため、[通信テスト] をタッチする

処理中画面が表示されます。通信が完了すると [確認] 画面が表示されます。

5 [確認] 画面のメッセージを確認し、[閉じる] をタッチする

[追加] 画面に戻ります。

- 通信が失敗した場合は、保存先のサーバーと、ネットワークの環境を確認してください。解決できない場合は、手順3の設定を再度確認してください。

6 [OK] をタッチする

[スキャナー保存先登録] 画面に戻ります。

- この機能は RISO コンソールでも設定できます。(p. 12参照)

HDDデータ暗号化

ジョブデータや文書データなど、本機の内蔵ハードディスクに保存されるデータを暗号化します。

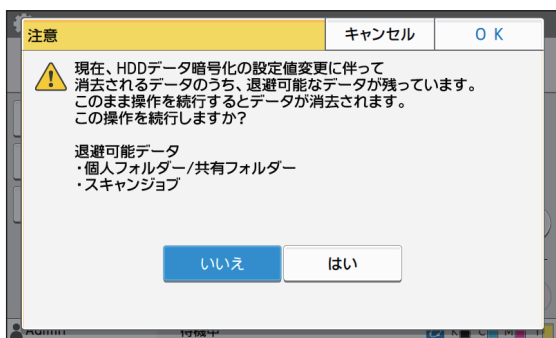
[OFF] / [ON] (工場出荷時: [OFF])

- HDDのデータ暗号化中／復号中は、中断できません。
- HDDのデータ暗号化中／復号中は、本機の操作ができません。
- HDDのデータ暗号化／復号には時間がかかる場合があります。
- HDDの暗号化中／復号中は、本機の電源を切らないでください。
- HDDデータ暗号化を [ON] に設定すると、USBメモリーにジョブデータを保存できません。

内蔵ハードディスクのデータを暗号化するには、[ON] を選択した状態で [OK] をタッチしてください。確認画面が表示されますので、内容を確認の上、再度 [OK] をタッチしてください。

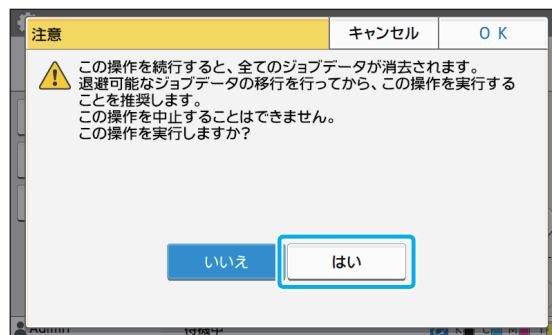
ハードディスクデータの暗号化または復号に伴って、すべてのジョブデータが消去されます。消去されたデータは復元できません。

消去されるデータの中にバックアップ可能なデータがある場合は、注意画面が表示されます。



データをバックアップしない場合

[はい] を選択し [OK] をタッチしてください。再度注意画面が表示されます。



注意文を確認の上、[はい] を選択し [OK] をタッチすると、処理が始まります。

データをバックアップする場合

[キャンセル] をタッチするか、[いいえ] を選択した状態で [OK] をタッチしてください。HDDデータ暗号化画面に戻ります。一度 [ホーム] 画面に戻ってデータをバックアップしてください。

バックアップできるデータは、以下のとおりです。

- ・ ボックスジョブデータ (個人/共有)
USBメモリーにデータをコピーして、バックアップできます。
詳しくは「ユーザーズガイド」の「ボックス」を参照してください。
- ・ 本機の内蔵ハードディスクに保存されているスキャンジョブデータ
お使いのパソコンにデータをダウンロードして、バックアップできます。
詳しくは「ユーザーズガイド」の「RISOコンソール」を参照してください。

データのバックアップが完了したら、再度HDDデータ暗号化画面から操作を行ってください。




- データのバックアップが完了していても、バックアップしたデータが本機のハードディスクに残っている場合、注意画面が表示されます。

PostScriptキット（オプション）利用時の設定

PostScriptキットをインストールすると、RISOコンソールの [管理者メニュー] - [プリンター] で以下の設定ができます。

該当項目	設定機能
プリセットフォーム設定	登録されたフォームデータを管理します。
カラープロファイル管理	登録されたICCプロファイルを管理します。
PostScript処理設定	PostScriptの処理方法を変更します。

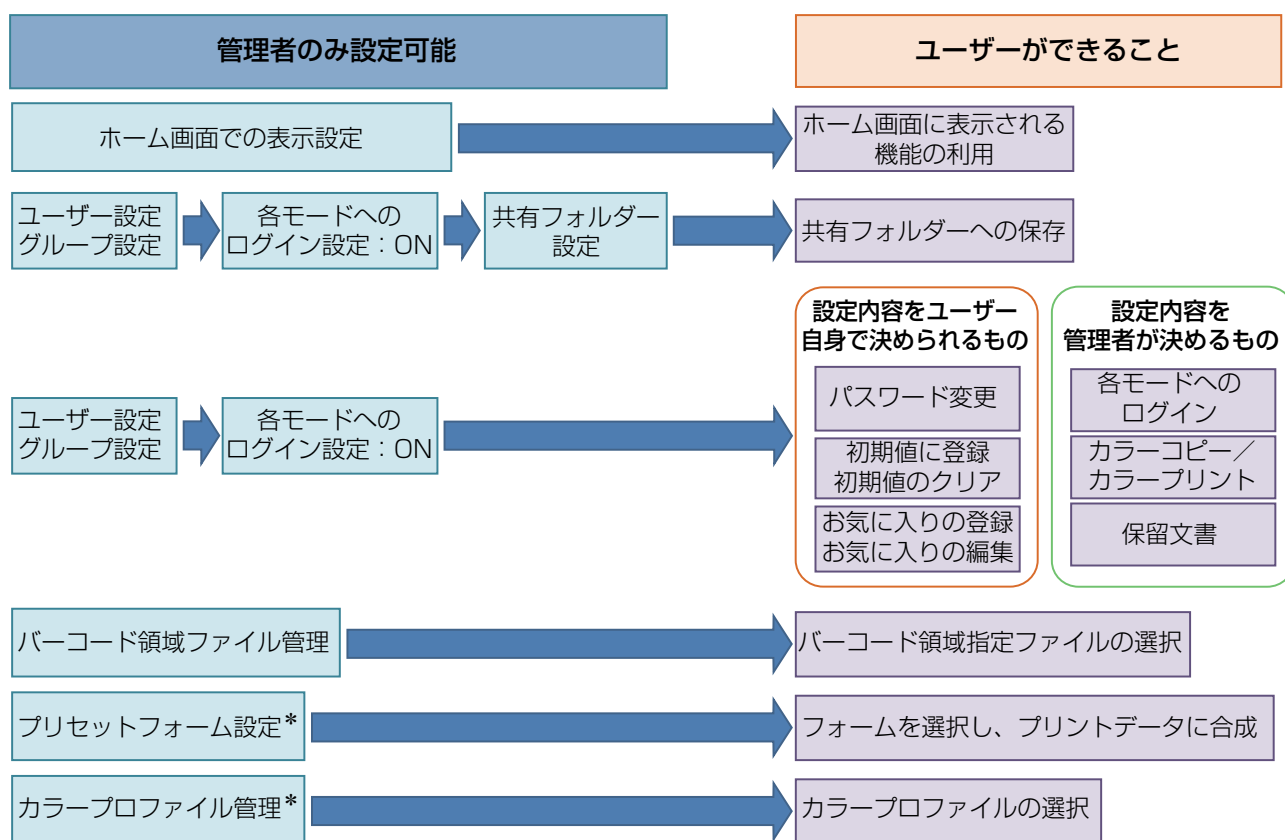
設定項目／内容	設定値／詳細
<p>プリセットフォーム設定</p> <p>プリンターに登録されたフォームデータを、指定の番号のカスタムフォームとして登録します。 カスタムフォーム1～10で選択したフォームが、サムネイルとしてプレビューエリアに表示されます。[◀] [▶] をクリックするとページを変えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [カスタムフォーム1] ～ [カスタムフォーム10] ・ プレビューエリア
<p>カラープロファイル管理</p> <p>パソコンからプリンターに、ICCプロファイルを登録することで、プリンタードライバーからカラープロファイルを選択できます。 また、選択したICCプロファイルを削除することもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [削除] ・ [CMYKアウトプットプロファイル] ・ [アップロード] ・ [管理者メニューに戻る]
<p>PostScript処理設定</p> <p>プリフライトを行うかどうかを設定します。 プリフライトを行う場合は、サムネイルを作成して表示することもできます。</p> <p> ・ プリフライトやサムネイルの設定を [OFF] にすることで、プリントデータの展開処理が速くなる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プリフライト] [OFF] / <u>[ON]</u> ・ [サムネイル] [OFF] / <u>[ON]</u> <p>* 下線は工場出荷時の設定です。</p>

管理者の設定により影響を受ける機能

機能相関図

管理者メニューの各項目は、お客様の環境にあった設定にしてお使いください。
以下の相関図を参考に管理者メニューを設定すると、より便利に本機を使用できます。

■ 管理者設定により、ユーザーが利用できる機能



* PostScriptキット利用時






・ 管理者メニューの各項目について詳しくは、「管理者メニューの設定項目」(p. 13) を参照してください。

以下の機能を各ユーザーが使用できるようにするには、管理者側で以下の設定を行います。

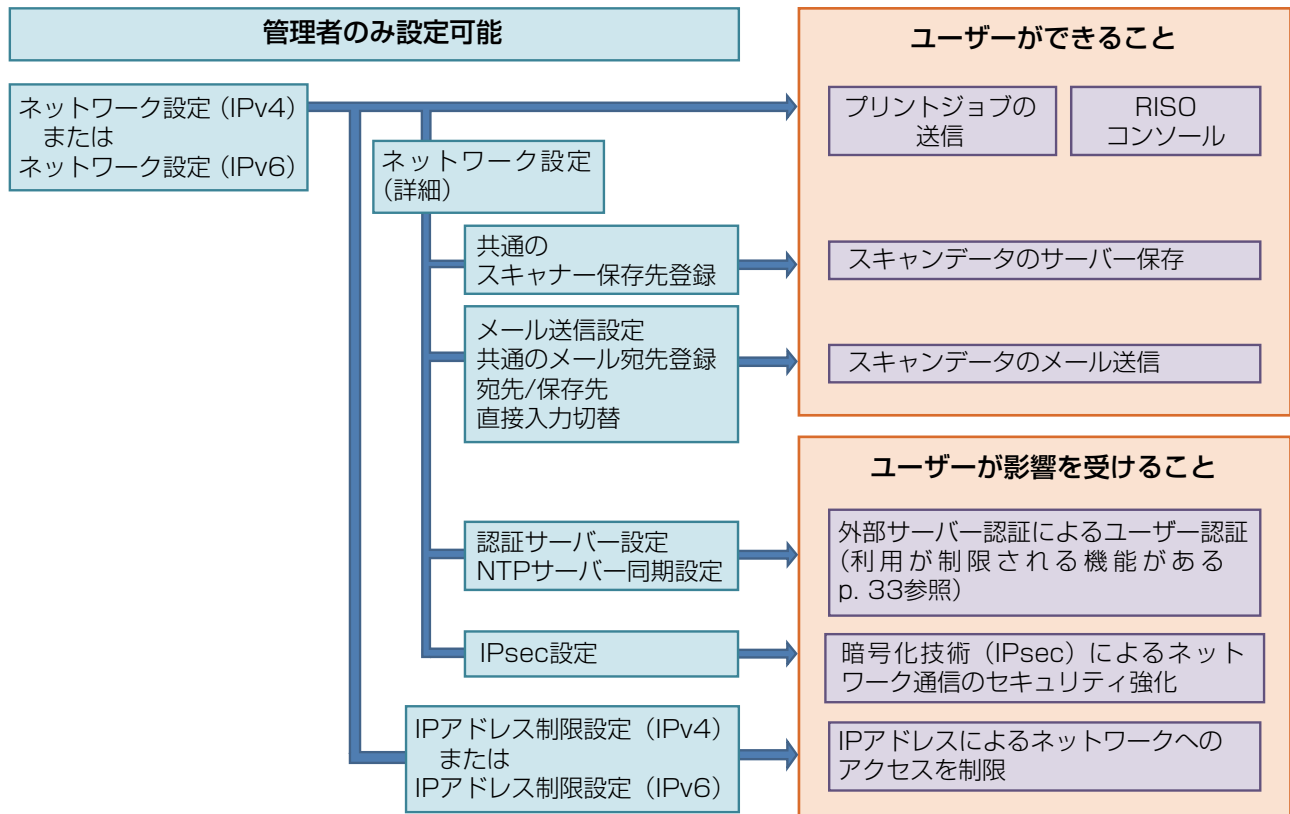
ユーザーが使用できる機能	管理者側で設定すること
パスワードの変更 (ログインパスワードを変更する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録
ホーム画面に表示される機能 (全てのユーザーに許可する機能の設定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ホーム画面カスタマイズ] - [表示設定] で、ユーザーに許可する機能を [ON] に設定する
初期値に登録 初期値のクリア (よく使う設定を個人の初期値として登録する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録
お気に入りの登録 お気に入りの編集 (コピー/スキャン/ボックス保存/USB保存でよく使う設定を、個人のお気に入りとして登録する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [ログイン設定] が [OFF] の場合、お気に入り画面には管理者が登録した内容が表示されません。
保留文書 (パソコンからの印刷データを、ログインしてからプリントする)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録

以下の機能を、各ユーザーごとに使用を制限する場合は、管理者側で以下の設定を行います。
 [ログイン設定] が [OFF] の場合は、制限される機能はありません。

ユーザーごとに制限される機能	管理者側で設定すること
モード選択 (プリント、コピー、スキャンの各モードの使用を禁止する、または各モード使用時にパスワードの入力を必要にする)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] で制限するモードを設定
カラーコピー／カラープリント (カラーコピー／カラープリントの使用可否を制限する、カラーおよび単色のコピー／プリント枚数を制限する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] で機能制限を設定
ボックス保存 (個人フォルダー) (個人フォルダーを作成し、プリント・コピーで読み取ったデータを個人フォルダーに保存する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] : [プリントモード]、[コピーモード] のどちらかを [ON] にする  <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントモード] と [コピーモード] の両方が [OFF] の場合はボックス機能は使えません。
ボックス保存 (共有フォルダー) (プリント・コピーで読み取ったデータを共有フォルダーに保存する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [グループ設定] でグループを登録 ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] : [プリントモード]、[コピーモード] のどちらかを [ON] にする  <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントモード] と [コピーモード] の両方が [OFF] の場合はボックス機能は使えません。 ・ [共有フォルダー設定] を設定する
ボックス利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [グループ設定] でグループを登録 ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] : [プリントモード]、[コピーモード] のどちらかを [ON] にする  <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントモード] と [コピーモード] の両方が [OFF] の場合はボックス機能は使えません。 ・ [共有フォルダー設定] を設定する
USB保存	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] : [スキャンモード] を [ON] にする
USB利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログイン設定] を [ON] にする ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [使用許可設定] : [プリントモード] を [ON] にする

■ ネットワーク設定により、影響を受ける設定項目とユーザーへの影響

本機をネットワークに接続して使用する場合は、[ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)]、[ネットワーク設定 (詳細)] を先に設定しないと各機能の設定ができません。必ず [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)]、[ネットワーク設定 (詳細)] を行ってから、各機能の設定をしてください。



管理者側の設定で、各ユーザーのネットワークを利用する機能は決まります。

以下の機能を、各ユーザーが使用できるようにする場合は、管理者側で以下の設定を行います。

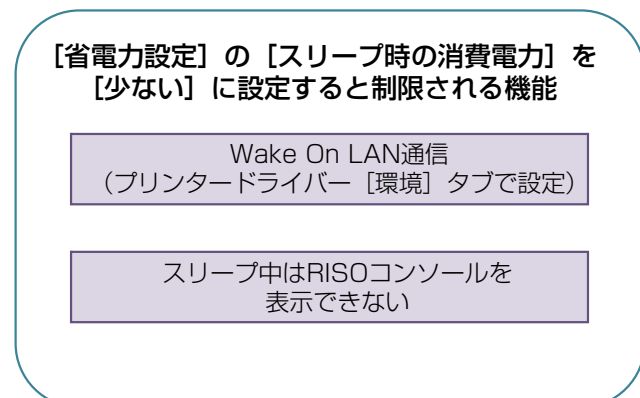
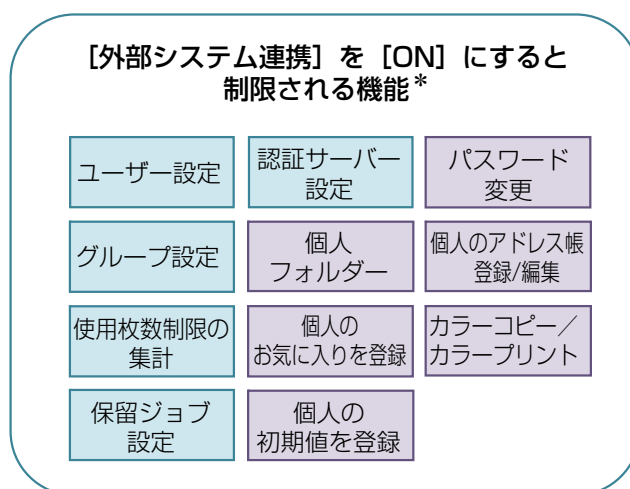
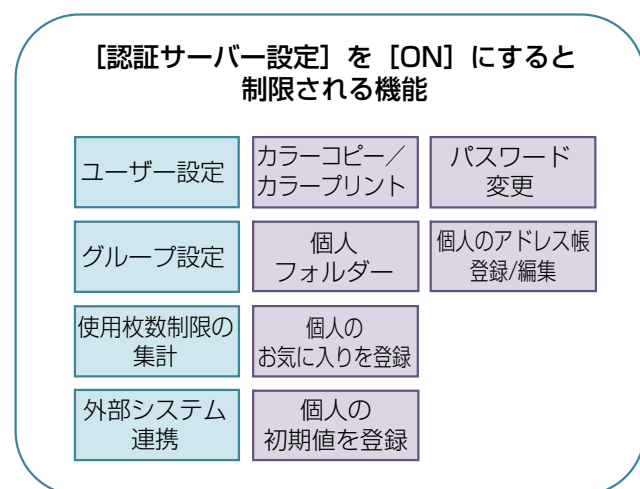
ユーザーが使用できる機能	管理者側で設定すること
ネットワーク環境で、プリントジョブを送信、RISOコンソールを利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] ・ [ネットワーク設定 (IPv6)]
スキャンデータをサーバーに保存する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [スキャナー保存先登録] ・ サーバー名で保存先を指定する場合は [ネットワーク設定 (詳細)]
スキャンデータをメールで送信する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [メール送信設定] ・ [メール宛先登録] ・ [宛先/保存先直接入力切替] ・ サーバー名でメールサーバーのアドレスを指定する場合は [ネットワーク設定 (詳細)]

管理者側で以下の機能を設定すると、ネットワークへのアクセス制限が働き、ユーザーへ以下のような影響が出ます。

ユーザーへの影響	管理者側で設定すること
ネットワーク環境で、IPアドレスによるプリントジョブの送信、RISOコンソールの利用を制限する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] ・ [IPアドレス制限設定 (IPv4)]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [IPアドレス制限設定 (IPv6)]
暗号化技術 (IPsec) で、プリントジョブを送信する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [IPsec設定] ・ [ネットワーク設定 (詳細)]
外部サーバー認証を行ってユーザーを制限する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [認証サーバー設定] ・ [ネットワーク設定 (詳細)] ・ [NTPサーバー同期設定]

■ 管理者設定により、本機の機能が制限されるもの

[認証サーバー設定] や [外部システム連携] を [ON] に設定したり、[省電力設定] の [スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定すると、使用できない設定や機能があります。



* MPSソフトウェアを利用して外部プリントサーバーに接続する場合

付録

ユーザーを一括して登録するためのCSVファイル形式

RISOコンソールから書き出したCSVファイルにユーザー情報を入力します。

例) オーナー情報のデータ

2行目の設定 (A~L) が、以下の表 (共通No.1~12) の「項目名」に該当します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	CSV ファイルVer.											
2	User name	PC login name	Admin. authority	Printer mode	Copy mode	Scanner mode	Index	IC card	Temporary Password	Group 1	Group 2	Group 3
3	山田太郎	yamada tarou	admin	on	on	on	8	1001 9638...	abcde123	営業		
4	山田花	yamada hana	user	on	on	off	8	1001 9638...	xwz9876	営業	企画	

[共通]

No.	項目名	設定値	使用できない文字
1	User name (ユーザー名)	半角/全角 1-10文字 ※空欄はエラー	"/ [] : + < > = ; , * ? ¥ ' "
2	PC login name (パソコンログインID)	半角/全角 0-63文字	"/ [] : + < > = ; , * ? ¥ ' "
3	Authorization (管理者権限)	"user": 一般利用者 "admin": 管理者	なし
4	Printer mode (プリンターモード)	"on": 許可 "off": 禁止	なし
5	Copy mode (コピーモード)	"on": 許可 "off": 禁止	なし
6	Scanner mode (スキャナーモード)	"on": 許可 "off": 禁止	なし
7	Index (見出し属性)	半角/全角2文字 (1-12) 1:あ 2:か 3:さ 4:た 5:な 6:は 7:ま 8:や 9:ら 10:わ 11:A-Z 12:0-9	なし
8	IC card (ICカードの固有ID番号)	半角英数字 0-22 文字 ICカードの規格に準拠	半角英数字以外の文字
9	Temporary Password (仮パスワード)	半角英数字 (小文字のみ) 1-16文字	半角英数字以外の文字
10	Group1 (所属グループ1)	半角/全角 1-10文字	"/ [] : + < > = ; , * ? ¥ ' "
11	Group2 (所属グループ2)	半角/全角 1-10文字	"/ [] : + < > = ; , * ? ¥ ' "
12	Group3 (所属グループ3)	半角/全角 1-10文字	"/ [] : + < > = ; , * ? ¥ ' "

本機に登録するユーザーに機能制限を設定する場合は、以下の項目についても設定が必要です。

例) 機能制限のデータ

2行目の設定(M~V)が、以下の表([プリント/コピー機能制限設定] No.13~22)の「項目名」に該当します。

	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1										
2	Full color print	Full color print limitation	Full color print limit	Mono-color print limitation	Mono-color print limit	Full color copy	Full color copy limitation	Full color copy limit	Mono-color copy limitation	Mono-color copy limit
3	on	on	99999	off	99999	on	off	99999	off	99999
4	on	on	100	on	100	on	on	100	off	99999

[プリント/コピー機能制限設定] : [個別に制限する] 選択時の例

No.	項目名	設定値	使用できない文字
13	Full color print (カラープリント可否)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
14	Full color print limitation (カラープリント使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
15	Full color print limit (カラープリント使用制限枚数)	半角数字 1-5文字 1~99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
16	Mono-color print limitation (単色プリント使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
17	Mono-color print limit (単色プリント使用制限枚数)	半角数字 1-5文字 1~99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
18	Full color copy (カラーコピー可否)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
19	Full color copy limitation (カラーコピー使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
20	Full color copy limit (カラーコピー使用制限枚数)	半角数字 1-5文字 1~99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
21	Mono-color copy limitation (単色コピー使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
22	Mono-color copy limit (単色コピー使用制限枚数)	半角数字 1-5文字 1~99999	半角数字 (0-9) 以外は不可



「設定値」以外の値を入力した場合、ユーザー情報が正しく登録されない場合があります。指定された文字種で、制限文字数内で入力してください。

アカウントティング情報

アカウントティング情報とは、プリンターが実施したジョブの履歴です。終了状況、オーナー名、処理時間などが記録されます。各項目に関する内容は以下の表の通りです。

No.	項目名	詳細内容
1	Discrimination code (機種コード)	アカウントティング情報ファイルとして、機種を区別するためのコード ORPHIS FWシリーズ：[CA] ORPHIS GDシリーズ：[DA] ORPHIS EXシリーズ：[BA]
2	Format version (フォーマットバージョン)	アカウントティング情報のフォーマットバージョン ([数字2桁].[数字2桁]で表示)
3	Charset (エンコード名)	アカウントティング情報のCSVファイルの文字コード
4	MODEL (モデル名)	モデル名 (機種名)
5	SERIAL (シリアル番号)	本機に記録しているシリアル番号
6	VERSION (プリンターのバージョン)	本機ファームウェアのバージョン
7	DATE (日付)	アカウントティング情報の取得日または、記録日 Currentジョブの場合：アカウントティング情報の取得日 履歴の場合：アカウントティング情報の記録月または、記録日 (YYYY/MM/DDで表示)
8	TIME (時間)	アカウントティング情報の取得時間 Currentジョブの場合：アカウントティング情報の取得時間 履歴の場合："00:00:00"固定 (hh:mm:ssで表示)
9	PRINTER NAME (プリンター名)	[ネットワーク設定]で指定した「プリンター名」
10	PRINTER IP ADDRESS IPv4 (プリンター IPアドレス)	LAN0またはDefaultポートの「IPアドレス(IPv4)」
11	PRINTER IP ADDRESS IPv6 (プリンター IPアドレス)	LAN0またはDefaultポートの「IPアドレス(IPv6)」
12	PRINTER IP ADDRESS IPv4_LAN1 (プリンター IPアドレス)	LAN1ポートの「IPアドレス(IPv4)」
13	PRINTER IP ADDRESS IPv6_LAN1 (プリンター IPアドレス)	LAN1ポートの「IPアドレス(IPv6)」

No.	項目名	詳細内容
14	Job kind (ジョブの種類)	ジョブ (プリント・コピー・スキャン) の種類
15	Job ID (ジョブID)	ジョブのIDを1~XXXXXXXXXXで表示
16	Job name (ジョブ名)	任意のジョブ名 (半角/全角255文字で表示)
17	Owner name (オーナー名)	オーナー名 (半角/全角64文字で表示)
18	Group 1~3 (グループ1~3)	グループ名 (半角/全角20文字で表示)
19	Start job (ジョブの開始日)	ジョブの開始日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
20	End job (ジョブの終了日)	ジョブの終了日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
21	Start printing (プリント開始日)	プリントの開始日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
22	End printing (プリント終了日)	プリントの終了日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
23	Start transferring (通信開始日)	ジョブの送信または保存した日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
24	End transferring (通信終了日)	ジョブの送信または保存が終了した日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ssで表示)
25	Processing time (処理時間)	ジョブの処理時間
26	Job status 1 (ジョブステータス1)	ジョブの処理状況 正常終了 : Done 中断終了 : Suspend エラー終了 : Error
27	Job status 2 (ジョブステータス2)	中断終了したジョブの状況 電源OFF : 1 パネルからの削除 : 2 コンソールからの削除 : 3 エラー終了 : エラー番号
28	Original size (原稿サイズ)	原稿サイズ (用紙名とサイズを表示) 原稿サイズ混在時 : Mixed
29	Original pages (原稿ページ数)	原稿のページ数

No.	項目名	詳細内容
30	Sender name (送信者名)	ジョブを送信したパソコンの名称 (半角/全角63文字)
31	PC IP address (PC IPアドレス)	ジョブを送信したパソコンのIPアドレス PostScriptキット接続時：空欄 複数のアダプタがある場合は、デフォルトに設定している IPアドレスが対象
32	Destination (送信先)	ジョブの送信先 本機内蔵ハードディスク：HDD USBメモリ：USB サーバ：SMB、FTP メール送信：Mail
33	Job comment (ジョブコメント)	ジョブに設定した任意のコメント
34	PS RIP (PSリップ)	PostScriptキットのジョブ：On PostScriptキット以外のジョブ：Off
35	Print pages (プリントページ数)	プリント画像の面数 両面プリントの場合：用紙1枚に対し2ページ
36	Output volume (プリント部数)	ユーザーが設定したプリントの部数 プログラム印刷の場合は、グループ、組、部数の合計枚数を表示
37	Output paper size (出力用紙サイズ)	出力時の用紙サイズ (用紙名とサイズで表示) 原稿サイズ混在時：Mixed
38	Paper type (用紙種類)	用紙の種類
39	Color (カラーの設定)	カラーモードの設定
40	Duplex printing (両面印刷)	プリント面の設定
41	Imposition (面付け)	面付けの設定 なし：Off 連写：Multi-up(Single-page) ページ集約：Multi-up(Multi-page) 小冊子：Booklet
42	Collate (ソート)	ソートの設定
43	Stapler (ステープル)	ステープル位置の設定 1カ所：1 position 2カ所：2 positions
44	Punch (パンチ)	パンチの穴数 2穴：2 holes 4穴：4 holes
45	Paper fold (紙折り)	紙折りの種類 (二つ折り、三つ折り、Z折り)

No.	項目名	詳細内容
46	Booklet (小冊子製本)	小冊子製本のとじ方
47	Add cover (表紙付け)	表紙、裏表紙の設定
48	Offset output (オフセット排紙)	オフセット排紙の設定
49	Paper interposal (合紙)	合紙の設定
50	Resolution (解像度)	画像の解像度
51	Print count (プリントカウント)	各ジョブのチャージカウントの合計値
52	Job charge count (FCL/FCS/MTL/MBL/MBS/MCS)	各ジョブ分のチャージカウントの情報 FCL：大きいサイズのカラープリント数 FCS：小さいサイズのカラープリント数 MTL：大きいサイズの単色プリント合計数 MTS：小さいサイズの単色プリント合計数 MBL：大きいサイズのモノクロプリント数 MBS：小さいサイズのモノクロプリント数 MCL：大きいサイズの単色プリント数 MCS：小さいサイズの単色プリント数
53	Mixed size original (原稿サイズ混在)	原稿サイズ混在の設定
54	Duplex scanning (両面スキャン)	原稿読み取り面の設定
55	Scan file format (スキャンファイルフォーマット)	スキャンしたデータの保存形式



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタードライバー/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6112

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>